

平成 2 8 年 度

「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）



阿久比町総務部政策協働課

目 次

□宮津公民館（横松、萩、宮津）	1
□宮津団地老人憩の家（宮津団地、宮津山田、陽なたの丘）	9
□英比小学校体育館（板山、福住、福住園高台、高根台）	1 6
□白沢区民館（白沢、白沢台、メイツ巽ヶ丘）	2 2
□中央公民館（坂部、卯之山、阿久比団地）	2 7
□草木公民館（草木）	3 3
□大古根公民館（高岡、植、大古根）	3 8
□勤労福祉センター（阿久比、棕岡、矢口）	4 5

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月10日（火）午後7時～午後8時55分
□会 場	宮津公民館
□参加者	町側11人、地区側26人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

常日頃は、阿久比町行政につきまして、皆さま方の温かいご支援のもと、施策を進めさせていただいておりますことを感謝申し上げます。一昨年、行政協力員さんから未来づくり懇談会のあり方を考えてみようということになり、多くの地区からご意見がありました。アンケートをとった中で、毎年テーマを絞り込んだ方がいいのではないかという意見が多く、内容を変えました。

私から皆さんへ重点施策等を述べさせてもらったあと、「高齢者と地域のつながり」と「ゴミの減量化」についての2つのテーマについて各部長から話をし、その後、各地区のことについて皆様方と意見交換をし、議論を深めたいと思います。

さて、皆様のおかげで新庁舎も完成させていただき、職員も頑張っていますが、役場としての器は良くなったが、中身の職員の質やサービス対応が悪いのではないかと、言われてはいけません。ということで、「町民の役に立つ場」としての役場という意識を職員に毎回説明しています。

役場を拠点として阿久比町のまちづくりを進めていきたい。そのなかで、阿久比町というまちがこの時代この地域のどういう位置付けか、将来のまちづくりをするときには、そこでどういう利点を生かしたらよいか述べさせていただきます。

私はよく「NAMトライアングル」という言葉をつかわせてもらっていますが、これは、名古屋圏（N）と三河圏（M）と阿久比（A）の3点を結んだトライアングルの考えがこれからの阿久比町を存続・発展させていくために必要と思っています。そうすることによって「田園町富」と言っておりますが、自然を守りながら、人間と自然が共存し、阿久比の今までのよさというものを残しながら住民減少に向かうことなく、維持できるようにまちづくりを進めて参ります。

阿久比町の位置付けと今の町政について、どういう町づくりに持っていったほうが良いのかということをお考えさせながら進めているのが実態でございます。

（1）平成28年度予算について

配布資料に基づき今年度予算について説明します。総額約173億6,409万円、阿久比町始まって以来の大型予算となります。一般会計予算は106億円。人口も増加し、4月1日現在で28,372人。平成27年国勢調査では、平成22年調査と比べ県内世帯増加率1位、人口増加率でも2位となりました。

町民一人当たり143,545円町税として納めていただき、町費として375,521円を皆さまのために使っております。

(2) 平成28年度重点施策について

○新庁舎建設事業費19億7,734万円、新庁舎建設費は今年度が最後となります。新庁舎総工費は約47億7千万円となり、ホール棟及び食堂棟の完成をもちまして全ての新庁舎建設が完了します。

○防犯カメラ設置事業1,150万円。高齢者の徘徊防止や行方不明対策を目的に設置し、今年22機を設置しますと、町全体で62機になります。また、公用車にもドライブレコーダーを搭載し、町民の安全を守っています。

○子ども医療費支給事業1億8,283万円。

○高齢者タクシー料金助成事業1,728万円。70歳以上の利用者は2,200人となります。

○放課後児童健全育成事業2,875万円。対象児童が328人。各家庭で約13.2万円を負担していただいておりますが、町負担も一人当たり8.75万円となります。

○ゴミ処理事業3億8,968万円。数年先は4億円となります。

○道路・橋梁補修事業1億1,672万円。長寿命化のため予算化しています。

○小学校の空調設備整備事業7,192万円。この予算も最後となり、今年度は英比小学校が対象で、全小中学校完備となります。教育環境の施策としては、知多半島随一となります。

○ほたるサミット開催事業350万円。白沢ホテルの里も会場となります。

○住民税1%町民予算枠事業724万円。

(高齢化について)

各地区の高齢化率、少子化率について説明。

(地震対策について)

熊本地震により被災された方にはお見舞い申し上げます。

4月14日に前震、16日が本震といった震度7クラスが2回もありました。想定外でした。しかし、私が一番恐れたのは、4月1日に発生した三重県南東沖地震です。私や職員のスマホが鳴り、防災無線も鳴りました。あれは、明らかに南海トラフ地震が来たということで国が情報を流してしまいました。結果は震度4ぐらいで終わり、運が良かったと言いきようがありませんでした。あれは、間違っただけではなく、本当に危なかったから流したと思います。

4月5日に名古屋大学減災連携研究センターの福和教授にお会いしました。その時に私は、「4月1日の地震は、場所が悪かったですね」と先生にお尋ねしました。すると先生も「そのとおり。あの位置が一番まずい。今後地震学者も政府も発言を控えることになるだろうね」とおっしゃっていました。その時は、言っている意味が分かりませんでした。そして、4月14日に発生した熊本地震では、地震が地震を誘発し、震源が移動しました。その時、気象庁は、「発表を控えます」と言っていました。この言葉はどこかで聞いたことがあり、福和教授の発言と合致しました。

町として現在、全ての地震マニュアルを見直し、作成し直すよう防災交通課長にも伝え、進めています。

私自身もゴールデンウィークに自宅2階の荷物を軽くする整理をしました。私は、南海トラフ地震が来ると思います。今回の地震との関連性について、地震学者の意見も分かれ

ていますが、日向灘が揺すったら南海トラフ地震は来るのだと言われていています。京都大学の梅田名誉教授は、関連性があると言っています。職員にも覚悟を決めてほしいと伝えましたし、地震が来たときのため自宅でも対応するよう指示しました。また、安政の大地震の前に起きた現象として、新潟の焼山、北海道の有珠山、阿蘇山で噴火が起きたと文献に記されています。そこで、今回に当てはめてみると、阿蘇山と焼山が噴火しました。その点でも何となく不気味です。愛知県でも三河方面で地震があり、県から届いたデータを見ると、震源地に近いから揺れが大きいという訳ではなく、断層が影響しています。阿久比町にも断層はあります。私がこれだけオーバーなこと言っていて、何も起こらなければ幸いですが、やるべきことはやっておいていただきたいと思います。町としてやるべきことはやります。あと1年で避難所にもなるホールが完成します。旧庁舎ができあがって6カ月後に伊勢湾台風が来たという歴史もあります。いろいろな情報を集めると、非常にいやな時期であることを認識してください。

もし、地震が起きた場合、行政協力員の皆さまは、住民から頼りにされるポジションとして、ご尽力いただきますようお願いいたします。そのためには健康にご留意し頑張ってくださいと思います。

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

① 高齢者と地域のつながり（配布資料に基づき民生部長説明）

（高齢者人口等の状況）

町の人口と各地域の65歳以上と75歳以上の高齢化率、さらに65歳以上の単身世帯について説明。

（高齢者問題）

高齢者問題とは、団塊の世代が平成37年に75歳以上となり、日本の全人口が1億2,066万人に対して75歳以上が2,178万人となり、約6人に1人が75歳となる超高齢化社会のことを言います。この年齢になると、医療費や介護状態の人が増加し、公的負担が増加すると言われていています。本町でもこの年は、人口推定約29,188人、そのうち4,851人が該当し、6人に1人となり、全国水準並みになると予想しています。また、65歳以上も8,173人となり、全体で28%と推計し、現在より1.12倍増加を見込んでいます。衰えをスローペースにするような環境づくりや元気な体を維持できれば、医療費や介護費を抑えることはできると思っています。そのために今から準備としてできることから対応すること。「いつまでも住み慣れた地域で暮らすため、また、高齢者が安心して生活できる環境を作り、人と人とのつながりを基に地域ぐるみで支え合う」ことが大切と考えています。

（各地区の高齢者活動について）

町内で行われている地域の支え合い事業を紹介する。学区ごとに運営されている宅老所や地域のいきいきクラブの会員同士が孤独を防ぐため行うサロン活動や訪問活動、助け合い活動等について説明する。また、地区での実績や参考となる活動を紹介。

（まとめ）

今後も地域で支え合いながら、無理なく継続可能な活動をしつつ、アイデアがあれば町も可能な限りバックアップすることを伝える。また、地域での新しい動きや提言があれば、

ご意見を伺いたい。

(①) について地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問（１）配布資料から、宅老所やいきいきクラブについて、今の説明で仕組みややっている内容は分かりましたが、そこに参加している人数や、活動している地区がどのレベルまで達しているかという資料はありますか。（宮津）

答）本日、そこまで詳細な資料は持ち合わせていません。（民生部長）

関連質問）また、現状で仕組みができてから良いのではなく、高齢化率の高い地域に宅老所以外の活動がなく、地区の事情も含め、何もしていない地区に実施させなければならないと思います。そのための中身の議論が必要ではないのですか。このことが元気な地域を増やすことになると思います。（宮津）

答）それ以前に、地域の方が集まるといった場づくりが必要と思います。町や社会福祉協議会もその地区の話し合いの場に参加の要望さえあれば、出向いて情報提供をすることも可能です。また、現在いろいろな活動をしている地域でも、担い手の高齢化や、減少など後継者問題が課題であると思いますので、アドバイスが必要と考えています。（民生部長）

質問（２）訪問活動について、６５歳以上の単身世帯の把握に民生委員が関わっていますが、民生委員は現状を分かっているのでしょうか、その方と地域が連携する方法について、事例がありましたらご教示ください。民生委員と同行することは難しいと思います。（宮津）

答）民生委員の役割が多いことは理解しています。訪問活動をしている地区を紹介しますと、大古根地区が、現在の訪問活動を始めるきっかけとして、独居高齢者を訪問してくれるボランティアを地区で募集して、その活動を何人かで行うようになり、それがサロン活動へと変わっていきました。（民生部長）

質問（３）地域福祉計画は、ただ、作っただけで行政側から働きかけがなく進展がない。各地域の区長や民生委員が率先してやっている地区が盛んになっていることはいいですが、小さい地区は特に行政側から地区へ組織作りの提案をすることが必要ではないでしょうか。小さい地区では、担い手もいませんので、福祉計画が進んでいけないと思います。

この地区の６５歳以上の一人暮らしが６名いますが、そのうち一人の方は体が不自由で、その方以外はお元気なので、大変ありがたいのですが、見守り活動やサロン活動を始めようとしても、民生委員一人では何もできないので、行政協力員会などで組織づくりを提案していただけないでしょうか。（萩）

答）地域から声が上がリ、組織を作ることが望ましいのですが、まず、話し合いの場を作

っていただきたい。町に声を掛けていただければ、そこに行政は出向きます。そこで、何らかのアドバイスや情報提供をいたします。二の足を踏んでいる地区も集会などのときに声を掛けてもらえれば、町はいつでも協力させていただきます。(民生部長)

関連質問) 地域から声が上がってくるのが理想だと思いますが、町のコーディネーター(社会福祉協議会)が役場と地区との橋渡しとして意見を吸い上げて、活動を広げていくことがいいのではないのでしょうか。(宮津)

答) 社会福祉協議会からいろいろな話は伺っていますし、情報提供することもサポートすることも可能だと思います。(民生部長)

質問(4) 今後介護制度が変更となり、要支援1, 2が外されると伺っています。町は、現在のサービスを低下させないと言っていますが、本当はどうなるのですか。例えば、地域の人がやろうとしても、風呂の介助などは素人ではできません。介護保険をずっと納めていても、結局はサービスを受けることができない。という声が多いです。本当に町としてこれでいいのかと国に言ってほしいです。そういう人たちのために、地域が考えなければならぬ問題ですが、町としても地域に投げかけてほしいと思います。(宮津)

答) ご質問は、日常生活支援の総合事業のことだと思いますが、平成29年4月1日から現在の要支援1, 2の方が利用するサービスのうち、ヘルパー(家事援助)やデイサービスについては、介護保険から切り離して考え、地域の事情などに応じ、柔軟な取り組みができるサービスに移行します。その中で、なるべく安い報酬単価で、サービスが低下しないようそれぞれの市町村で考えることを国から求められています。

ヘルパーですと、現在の国の高い介護報酬単価ではなく、資格がなくても十分支援できる方がサービスを提供すれば、報酬単価を抑えることができますし、デイサービスも軽度なサービスでよい方の居場所さえあれば、安価な報酬単価で提供でき、利用者の自己負担も軽減されます。

本日のテーマは、介護状態にならないようにするにはどうするかであり、要介護の方を地域で何とかしなさいと言っている訳ではありません。介護状態の方には介護保険を今後も利用していただき、新たな介護保険制度の下でも、できるだけサービスが低下しないように努力して参ります。(民生部長)

② ゴミの減量化について(配布資料に基づき建設経済部長説明)

(予算について)

皆さんにゴミの減量が可能かどうか考えてほしい。ゴミ処理事業に3億8千万円ほどかかっている状況です。

各地区の燃えるゴミの収集運搬に1億1,600万円、東部知多衛生組合負担金に1億2,200万円となり、燃えるゴミを出すだけで総額2億3,800万円かかっています。

(阿久比町の回収ゴミ量)

ゴミの量については、資源ゴミがやや減少しているだけで、プラゴミや粗大ゴミは変わ

りません。

(地区別報奨金)

資源回収した地区へ町は報奨金を出しています。地区での報奨金の状況を過去3年間紹介。各地区にばらつきがありますが、その中でも頑張っている地区を紹介。積極的に資源回収に取り組んでいただきたいです。

(近隣市町の状況とゴミ袋の値段)

ゴミの状況について、近隣市町と比較すると東部知多衛生組合の中で多い方です。近隣市町の中でも常滑市が低い理由は、ゴミ袋の値段が高いことが考えられます。また、東海市のゴミ袋が高い理由は、毎年初めに一定量を無料配布しているためです。

(東部知多衛生組合の状況)

現施設は老朽化が進んでおり、毎年多額な修繕費を投入しています。現施設は、昭和63年に完成し、建築後30年となる平成31年に新施設が稼働予定となっていますが、現施設240トン/日のところ200トン/日となります。その理由のひとつに人口が減る状況もあり、ゴミの減量を考えていただきたい。ところが、本町は、人口が増加している現状もあります。

(町としての取り組み)

○ゴミ袋の抜き打ち検査をしています。これは、パッカー車1台のゴミの状況を確認しています。この中には資源ゴミも入っています。一般家庭ゴミの中に、事業系ゴミも入っています。この場合、その事業所あてに書面を出しています。この分は有料で処分するよう促しています。

○生ゴミの堆肥化にも取り組んでいます。アスパの配布をしています。

○生ゴミを入れて処理する機械にも補助金を出しています。

(まとめ)

東部知多衛生組合の炉も平成31年度に完成しますが、処理規模が縮小されます。

ゴミの減量のため東部知多衛生組合関係市町でゴミ袋代の高額化の話も出ています。

これら紹介した内容等について現状の把握ができたと思いますが、具体策等が在りましたらよろしく願います。

(2) についての地区からの提言・質問事項についての主旨要約)

質問(1) 配布資料の中で、資源ゴミの量が、陽なたの丘で少ないのには理由があるのでしょうか。(宮津)

答) 引っ越してきたばかりで少ないということと、アピタ、サンキュー、ヤマナカなどで資源ゴミを回収していますので、そちらに持っていく分が多いのではないかと思います。

(建設経済部長)

質問(2) ゴミステーションの改修を1%予算枠でやっていただきましたが、そのメンテナンス部品はどちらでいただけるのですか。以前はいただけましたが、カーテン式などの新しい部品もいただけるのですか。(宮津)

答) 従来のものは悪くなれば建設環境課で取り替えます。新しい形のものは、どんな部品が必要か検討します。(建設経済部長)

質問(3) 捨ててはいけないものに対し、しばらく張り紙をすることは継続していますか。
(宮津)

答) 続けています。そのまますぐに片付けてしまうとよくありませんので、お知らせのため、しばらく張り紙をしてから片付けます。(建設経済部長)

質問(4) 資源ゴミの量は町として増えた方がいいのですか。減った方がいいのですか。
(宮津)

答) きちんと、仕分けができれば資源ゴミは増えます。町の財政面で言えば、資源ゴミが減れば町が負担している負担金も減るのでありがたいという面もありますが・・・。(建設経済部長)

報奨金制度は、阿久比町独特のものがあります。報償金制度自体を他市町みたいにやめてしまうことも考えられます。しかし、資源ゴミの財産権はどこにあるのかという問題で、資源ゴミの窃盗があった場合、誰が訴えるかという疑問が発生したため、町の財産とすることにし、被害に遭った場合、町が訴えることにしました。そのため、現在、町に一旦入った売り払い処分費をそのまま地区にお支払いし、それとは別に報奨金を地区にお支払いする方法を行っています。そのことを町民はあまり理解しておりませんが、報奨金は、地区へのご褒美と啓発を兼ねてやっています。町の財政からすると検討する余地もあります。
(町長)

関連質問) 報償金を字の経費とすることを考えると、財政面でよいのですが、分別という観点からですと、落とし所として区民にどのように周知したらよいかを知りたいです。(宮津)

答) 町としては、字に入るお金を増やしていただきたい。財政が苦しい中この報奨金制度を続けているということは、できるだけ分別していただきたいという表れとして、また、字費のプラスになっているのだということで、区民によく周知、啓発していただきたいと思います。(町長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) コラボ事業で行った「なんでも交換市」で、公民館の利用申請をしたが、金銭の授受がある場合、公民館を利用できないと言われ、急きょ会場を空き地に変更しました。大字の行事やコラボ事業などは、チャリティー目的の場合、公民館を利用できるように検討していただけないでしょうか。

もう1点、宮津公民館などは、色々な団体が利用しているのに、大規模改修する場合、大字宮津が1／2費用負担するのは、区民に説明がしにくいので、利用度を勘案した費用負担割合に変更することを検討していただけないか。(宮津)

答) 1点目は、営利ではないということですので社会教育課と検討し詰めます。大規模改修につきましては、長年折半ということで線引きをしております。利用料につきましては、検討委員会も立ち上げていますので、減免方法なども含め議論していきたいと思っています。(副町長)

要望) 東部小学校の駐車場について、新入生も増加傾向にあり、地区としても考えなければならぬと思っています。近隣に遊休農地もあると聞いていますので検討していただけるとありがたいです。(宮津)

5. 閉会あいさつ

今回から新たな取り組みでテーマを決めて懇談会をさせていただきました。特に身近な事業でもあります。今後とも行政と地区が連絡を密にしていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。(副町長)

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月12日（木）午後7時～午後8時55分
□会 場	宮津団地老人憩の家
□参加者	町側9人、地区側27人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）私たちが、小地域福祉活動を始めて5年が経過しました。良かったことを紹介します。地域福祉計画の会議でも述べたが、包括支援センターの保健師さんがサロンの中で血圧測定をしてくれ、福祉何でも相談を受け付けています。相談は昨年度については7件ありました。特に血圧測定は人気があり、毎回10人前後が利用しています。保健師さんと話せる上、健康についてアドバイスをしてくれることが良いです。しかし、白沢台のサロンと日程がぶつかった日に、先に白沢台、後で宮津団地の順番で、保健師さんがはしごすることがありました。結局来るのが遅くなって、3人ぐらいしか血圧測定ができませんでした。そのようなときには、行政が何かしら手を打ってほしいと思います。

訪問活動をしていて良かったことは、サロンに顔を出さなくなった人のところへ行き、サロンに行かない理由を聞いたところ、転ぶのが怖いからということでした。家をよく見ると手すりも何も付いていないので、包括支援センターに相談したら、業者さんを紹介してもらって、風呂場や玄関、トイレに手すりを付けることができ、非常に喜んでもらえました。そういう事例もあるので、各地区で友愛活動や小地域福祉活動が増えると良いと思いますし、そうなるように行政の配慮をお願いしたいです。（宮津団地）

答）今後、サロン活動が増えると思いますが、日程調整などが必要となります。保健師がサロンに行って、話をしながら血圧を測るのはいいことです。包括支援センターと相談して、これからも顔の見える活動を続けていきたいと思います。サロンに来る人はまだいいです。目の届かない、来られない人の方が心配です。そういった人のために、訪問活動が始まったと思いますので、サロン活動と訪問活動の両方やっている地区は素晴らしいと思います。良い事例をありがとうございます。（民生部長）

質問（2）高齢者になるとみんなが集まるサロンに力が入る。私としては、高齢者がもつ

と働ける場所を提供してほしいです。長年勤めてきた人たちは、特技や腕がある。そういうのを募って子どもたちに教えるとか、年をとっても特技を発揮、活かせる場所を作ってほしいです。サロンもいいですが、自分の特技を発揮できる場所づくりをお願いしたいです。(宮津山田)

答) 私も、皆さんの若い頃から培った技術、特技を披露する場があると、それが生きがいにつながるのではないかと思います。いろいろな団体と協議して、そのような場を作れるように考えていきたいです。

宮津山田、宮津団地さんは、昔からしっかりと活動をされています。そんな皆さんでも、きっと後継者不足という課題や困りごとはないでしょうか。活動が始まってから、担い手の入れ替わり、上手に世代交代ができているでしょうか。支援者が支援される側に回り、支援者が減ってしまっているようなことはないですか。(民生部長)

意見) いきいきクラブ連合会に関わっています。サロン活動でコーヒーを飲んだり話したり楽しい雰囲気です。連合会の中でもぜひ、全地区でサロンを実施してほしいと言っています。人が集まれば必ず情報も集まります。あの人元気がない、具合が悪い、という情報が入ってくる。元気がない情報が入れば、次は訪問しますよね。そういう発想になります。是非、活動を普及するために町が主導してほしいです。担い手については山田の達者会でもお手伝いする人、次やってくれる人を選ぶのが大変です。手を挙げる人がいないので、お願いしかなくなります。そういった意味でやはり、後継者選びは難しいです。(宮津山田)

答) 皆さんはサロン活動のイメージが湧くと思いますが、どうやるかを分からない地区もあります。これから私たちは、全町回るので、活動していない地域の方にサロン活動が良いことを認識してもらうよう伝えていきます。立ち上げようという地区があれば、現場に行って情報提供などをして、町と社会福祉協議会で力を貸せるようにします。(民生部長)

質問(3) 話は違いますが、町長が地震について話していましたが、私たち宮津団地の人はどこに、そして宮津山田はどこに避難すれば良いか分かりません。町ではっきりしてほしいです。今後、大きな体育館の建設もお願いしたいです。(宮津団地)

答) 以前配布した防災マップに避難所が載っています。この地区ですと、東部小学校、陽なたの丘集会所、宮津保育園、宮津公民館と4つの避難所が載っています。団地や山田の方からすると、ふれあいの森の体育室もあります。(民生部長)

意見) 東部小学校に行くまでに死にます。保育園では狭い。この地区は人口が増え、人口が多いから、もう少し避難所を充実させてほしいです。地図を見ていない人もたくさんいるからその辺りをしっかり周知してほしいです。(宮津団地)

質問(4) 徘徊老人が増えることについて心配しています。そういう人にGPSを付けて

監視をしてはどうですか。そういうシステムはないのですか。(宮津山田)

答) 福祉サービスにGPSを貸し出すサービスがあります。取り付ける場所によっては本人が外してしまいます。徘徊を確認できるように今年度事業で靴に貼る番号入りのシールを作る予定をしています。(民生部長)

②ゴミの減量について

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 廃プラはどのように処理していますか。聞いたところによると分別をしても、最後は燃やしているようで、分別している方としては残念です。どう処理しているのか教えてください。(宮津山田)

答) 最後には燃やしています。しかし、新日鉄などが燃料の足しにするので、廃プラは買ってもらった上で、燃やして処分してもらっています。廃プラが増えると買ってもらえるゴミが増えるのでありがたいです。誤解している方もいるのでしっかりPRしていきます。(建設経済部長)

質問(2) 近隣市町の状況を見ると、市町で相当、量に違いがあります。多いところは南知多町がおよそ700グラム、少ないところは常滑市が440グラム。何か理由があると思います。例えば人口の構成比、袋の値段とか、原因をつかんでいれば、教えてください(宮津団地)

答) 443グラムとゴミが少ない常滑市ですが、一目瞭然で10枚当たりのゴミ袋の値段が500円と高いです。500円は平成24年の10月からスタートしました。それまで常滑市は650グラムぐらいでした。平成24年の1年で100グラム減って550グラムぐらい、それからどんどん減らして、今は443グラムです。平成27年は少し増えていると聞いていますが、それでも450グラムぐらいです。次に少ない東海市は474グラムです。ゴミ袋の値段は、1,100円と書いてあります。購入すると高いですが、1年間の使用量を試算して事前にゴミ袋を無料配布し、ゴミを減らして使わないようにすれば安く済むというようになっています。無料分を使い切って、新しく買おうとすると1,100円かかるということです。1,100円で買わなくて済むように、ゴミをどんどん減らしているという状況です。南知多町、美浜町は地域事情もあるのでしょうか。旅館が多いのでひょっとするとそういったところのゴミが入っているのではないのでしょうか。何とも言えませんが、地域事情だと思います。(建設経済部長)

意見) 私の個人的見解では、人間横着な生き物ですから、経済的な制裁を少し与えないとやりません。住民サービスに逆行するが、ゴミ袋の値上げが良いのではと思います。(宮津山田)

答) 毎月1日号の広報に、先々月の可燃ゴミの排出量を載せています。ただ数字だけ載せるのではなく、燃えるゴミを減らすためのポイントも併せて掲載しています。参考にしてください。(建設経済部長)

質問(3) 廃プラのことですが、私は、醤油やジュースがなくなるときれいに洗って出しています。燃やすのであれば、洗わなくても良いのでしょうか。リサイクルされると思いきれいにしていましたが、燃やしてしまうのであれば、洗わなくても良いと思うのですが。(宮津団地)

意見) 私も少しでも汚れていれば、もうダメだと思いきれい可燃ゴミとして出しています。(宮津団地)

答) 町としてはきれいにしてほしいとお願いしています。535グラムを少しでも減らすには、多少汚れていても、廃プラでお願いしたいです。(建設経済部長)

意見) 朝、ゴミ捨てに行くと、可燃ゴミの中にペットボトルやプラゴミなどが入っていて、分別されていない状況を見かけます。5,534トンのうち、5%ぐらいはそういったものが入っているのではないかと思います。プラゴミを上手に分別して出すようにすれば良いと思います。今、燃料にするという話でしたが、醤油やジュースが付いているものは不純物が出ます。そういったものは新日鉄はいりません。きれいに洗って乾燥させているものであれば、燃やしたときに不純物が出ないので高く買ってもらえます。だからきれいに洗うべきです。新日鉄の溶鉱炉をやっている人なら誰でも分かります。ゴミを考えますと、自分が小さい頃はゴミが出ませんでした。野菜や魚は新聞紙で包んで、その新聞紙は風呂を沸かすために燃やす。野菜くずやいわし、サンマの頭も工夫して食べました。そのため、昔はゴミが無かったのに今はすごく多いです。私は、アスパを生ゴミにかけて肥料化するなど、どうすればゴミが減るか自分で考えて工夫し、できることはやっているつもりです。全員そうしてほしいと思っています。今の若い人は知識があるから、しっかり数字を示したらきちんとやってくれるので、そういうことをPRしてほしいと思います。(宮津団地)

答) PRを強化していきます。(建設経済部長)

質問(4) 生ゴミを乾燥させると減るというのは勉強になりました。ゴミ袋を高くすればゴミが減るのも分かりましたが、ゴミ袋が同じくらいの値段のところでも少ないところがあります。豊明市を見るとゴミ袋が同じくらいの値段なのに、阿久比町と比べてゴミが1割近く少ないです。これぐらいで2,000万円から3,000万円くらい処理費用が減るのではないのでしょうか。この違いをどう考えていますか。例えば、生ゴミ処理機は自分も購入を考えたのですが、補助があるなんて知りませんでした。PRが足りないと感じました。自分の家にも小さい庭があり、草取りしたものを次の日捨てに行くと、生ゴミと草が

混ざって捨ててあります。草は生ゴミではないから、一緒に捨てる必要はなく、乾燥させてから出せば良いと思います。そういったことを上手にPRすると良いのではないかと思います。(陽なたの丘)

答) 袋の単価が似ている他市町の動向は調べていません。大字や自治会で草刈り、枝切りしたものは、次の日に燃えるゴミとしてゴミステーションに出ています。町としてはこのようなゴミを減らしていきたいです。乾燥させてもらえると重量が減るのでそうしてほしいですが、そのまま出しているのが現状です。町として公園の管理など自分たちでできることは自分たちで進めることをお願いしていますが、管理で出た草や枝は事業系ゴミとして出すのが本来です。ゴミステーションに出すのではなく、お金を出して事業系ゴミとして直接東部知多クリーンセンターに持って行ってほしいです。また、ゴミゼロによって自分たちで集めてもらったゴミも事業系なので直接東部知多クリーンセンターに持って行ってもらうとありがたいです。特に、草に関しては、そのままステーションに出している地区もあります。枯らしてから出すようにする、公園に山積みにして土にもどるまで待つとか、何とか工夫してほしいと思います。そうすると個人のゴミの量が減ると考えています。(建設経済部長)

意見) 畑から出る草、家庭から出る草は水分が多いから、畑に持って行ってから燃やすと消防署が来るというのが現状です。広報で野焼きがダメというのがマイナスに働いていると思います。逆の発想で、私は畑に積んでおいて、時間・日にち・風を見ながら燃やせば良いのではないかと思います。許されるなら、常識判断でやらしてほしいです。そうすれば、洗濯物を干さない時間を設けるなど工夫して、少々のご事は許していいのではないのでしょうか。(宮津山田)

答) 私の家では草刈りをした草は、どんどん山積みになっています。10月末まで、毎月山積みになっていますが、時間が経つとどんどん減っていきます。夏は水分が蒸発して、下の方は虫が食べて土になります。山積みにしても、どんどん山にならずに、高さは変わりません。燃やさなくても大丈夫です。公園の草は自分の家に持って帰れないですね。そのようなことを公園でやる場合は、目をつぶるので、皆さんでやってみてください。(建設経済部長)

提案) 刈った草は水分が85%。そのままでは絶対燃えません。3、4日で5分の1になるので、しっかり乾燥させることが大切です。東部学区の野球コーチをしていて、グラウンドの草刈りしたものを草積み場に積み上げると、1週間で発酵してどんどん量が減ります。数カ月経つとカブトムシが卵を産むくらい良い土になる。除草剤を使わない安全で良い堆肥なので、農家の方がトラックで持って行きます。刈った草を積み、肥料にして農家の人に分けると良いです。できない場合は、しっかり乾燥させるようにしたらよいと思います。(宮津団地)

意見) この2億ほどの処理費用は知恵を出すと半分になると思います。袋の高額化を前提にして、町として、ゴミ減量のためにこういう施策をしていくというものをしっかりと打

ち出してほしいです。生ゴミ、プラゴミの分別を100%徹底させることが大切ではないでしょうか。そうしないと袋代だけ上げてても効果が低いです。野焼きのことも含め、対策を町で練って提示してほしいです。分別の判断基準とかも含めてしっかりしたものをお願いしたいです。問題提起とさせていただきます。(宮津団地)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) 富士塚の調整池の浚渫(しゅんせつ)の依頼に対して、平成27度にやると返事をもらいましたが、一年たっても進んでいません。ぜひ計画を立てて進めてください。今の環境では、草が生え、環境や防災の問題に絡んできません。前回、建設環境課に行って確認したところ、サークルKの横の池は計画に入っていると聞きました。前にお願ひしたところが予定に入っていないので、ぜひやってもらいたいです。(宮津団地)

答) Mさんの北の調整池ですね。昨年の未来づくりの時に「草を刈りましたよ、ありがとう」という話で、団地は2つ池あるから、2つやってほしいという話だったと思います。区画整理の方をやったらMさんの北の方もやってほしいという話が出てきたと記憶しています。(建設経済部長)

意見) 自治会としては浚渫(しゅんせつ)をお願いしていました。(宮津団地)

答) 浚渫(しゅんせつ)に関しては基本的に下に蛇籠(じゃかご)があるので、あれ以上は掘れません。また、排水の入ってくる場所と出てくる場所の高さに差がないということで、草を生えなくする方法は、コンクリートベタ打ちしかないという状況です。浚渫(しゅんせつ)の話は、サークルKの池も何度もやってほしいという話があったので予算を付けました。ただ、西の調整池は葦なので、刈っても一年経てば元に戻ってしまうので、「そのへんは良い方法を考えているところです」という答えをしたつもりです。(建設経済部長)

意見) 毎年同じことですよね。火災が起きたときに2件の家が危ないです。冬場に北風が吹いたときに近所の2軒の家が本当に火事になります。虫の発生でも困っています。そういうことも含め、平成25年度に文書で浚渫(しゅんせつ)をお願いしました。そこから26年度、27年度、28年度と過ぎていて、これはないと思います。(宮津団地)

答) 草刈りと周りの整備を26年度にやらせていただきました。(建設経済部長)

意見) 草刈りではなく、浚渫(しゅんせつ)を文書でお願いしたのです。(宮津団地)

答) 蛇籠(じゃかご)があるのは知っています。その上に40、50センチぐらいヘドロがあって、葦が生える環境ができてしまっています。葦は蛇籠(じゃかご)の下から生え

ているので、葦を止める方法はコンクリートベタ打ちしかありません。浚渫（しゅんせつ）すると、蛇籠（じゃかご）を外さないといけません。（建設経済部長）

意見）役場は貯水量の面で問題があると言うけれど、ヘドロの分、貯水量は減っています。あの池は洪水調整池だからこそ浚渫（しゅんせつ）は必要。ヘドロがたまればその都度やっってもらうのが筋だと思います。（宮津団地）

答）工法等を含めて検討中です。どのくらいの蛇籠が下にあるか分からないから難しいです。蛇籠（じゃかご）の中にも葦の根が入っているか分かりません。全部蛇籠（じゃかご）を取って打ち直すという工法は難しいです。今のところ、単純にヘドロを取ってコンクリートベタ打ち方法ぐらいしかないので、もう少し西の池をどうするかについて返答をお待ちいただきたい。（建設経済部長）

意見）また、そういった予定が決まったら連絡してください。（宮津団地）

5. 閉会あいさつ

本日はありがとうございました。今年からテーマを決めて実施させていただきました。この2つのテーマは身近で重要である反面、大変難しい事業でもあります。今後とも行政と地区が連絡を密にし、事業向上に努めてまいりたいと思います。

以上で、平成28年度未来づくり懇談会を終了します。（副町長）

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月17日（火）午後7時～午後8時55分
□会 場	英比小学校体育館
□参加者	町側10人、地区側26人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ（他公務のため順番変更）

同主旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）懇談会について、今年から2つのテーマに絞ったとのことですが、その理由を教えてください。また、先ほど議事録作成のために録音すると言っていましたが、平成27年度は議事録を作成しましたか。（高根台）

答）議事録については毎年作成し、ホームページや政策協働課の窓口でご覧いただくことができます。また、行政協力員会でも配布させていただいたので、地区にも保管されていると思います。

テーマを絞った理由ですが、未来づくり懇談会について、時期やあり方を変えた方がいいのではという意見が地区からありました。昨年度検討した中で、テーマ型がいいのではという意見が地区から多くあったため、町からテーマを発信させていただいて実施することとなりました。（政策協働課長）

関連質問）テーマは行政協力員会などで決めたのですか。（高根台）

答）テーマについて地区からさまざまな意見をいただき、町で検討させていただいた結果、今年度は皆さんに身近なテーマとさせていただきました。（政策協働課長）

質問（2）地区でサロン活動をやったらどうかという意見があり、会員にアンケートをとったところ60人ぐらいが出席してみたいという回答でした。そのため、昨年度試験的に実施し、皆さんに喜んでいただけました。補助金が3万円あり、コーヒー1杯100円でも十分採算がとれるため、新年度でも実施する予定だったのですが、中止の方向です。理由は、補助金の使途が限定されているためです。使途を限定することは誰が決めたのですか。

また、サロン活動を推奨するという事なら、用途を限定せずに補助金を出し、知恵を絞りながらやりたい活動を活発に行ってもらう方が効果的であるため、制度を改善してもらえませんか。（板山）

答）サロン活動は、いきいきクラブが実施している友愛活動の一環で、いきいきクラブ連合会からの助成制度があります。活動には3種類あり、友愛訪問・サロン活動・独自（助け合い）活動です。1事業3万円で最大6万円が助成されます。サロン活動でコーヒーしか買ってはいけないということはないと思うので、事務局である社会福祉協議会に確認させていただきます。また、助成金の用途は、いきいきクラブ連合会で取り決めをして、皆さんの承諾の上で決めています。（民生部長）

関連質問）「連合会で決めている」ではなく、「思うような活動ができるように調整してみます」という回答をしてもらわないと、町には関係ないような感じがして、話をしていても用をなさない気がします。（板山）

答）連合会に確認し、幅広く使うことができないか検討します。（副町長）

質問（3）昨年2月に、高齢者と弱者の6年計画のパンフレットが全戸配布されました。高根台は昨年7月に、事務局と社会福祉協議会が説明に来ました。計画は前期と後期の3年ごとで進められると思いますが、予定通り進んでいますか、また体制はできているのですか。（高根台）

答）ご質問の計画は「阿久比町地域福祉計画」で、平成27年度から平成32年度までの6年間で計画期間となっており、担当者が各地区で説明させていただきました。基本目標は「みんなつながって、孤立をなくそう。」「みんなつながって、交流や支え合い活動に参加しよう。」「みんなつながって、交流や支え合い活動の担い手になろう。」の3項目です。現在、地域で支え合う活動やつながりができました。今後も継続的に続けていく必要があるため、担い手についても計画の中で取り組むこととなっています。現在進行形ですので、地域のつながる活動を広めていきたいと思い、啓発のためにこの懇談会も利用させてもらっています。（民生部長）

関連質問）6年計画の2年目ですが、あまり感じる事ができません。（高根台）

答）計画を進めるに当たり、5月12日（木）に今年度の第1回目の会議を、日本福祉大学の原田教授も参加して開催しました。進捗状況を調査していくことに決定したため、今後定期的で開催し、その都度発表させていただきたいと考えています。（副町長）

②ゴミの減量化について

配布資料に基づき建設環境課長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（１）燃えるゴミの量は季節的要因があると思います。この時期は雑草が結構出るためゴミが増えます。最近ゴミゼロの時に草刈りをしてもすぐに回収せず、少し置いて乾燥させてから回収しています。雑草もある期間家庭に置いておけば、少なくできると思います。（高根台）

答）その通りです。この時期は特に雑草が多く、抜いたからすぐ捨てたいというお気持ちは分かりますが、１週間から１カ月ぐらい乾燥させていただけると、小さく軽くなり、さらに、燃えやすくなるためご協力をお願いします。（建設環境課長）

質問（２）最近、ゴミの減量について広報に掲載されていますが、今のような具体的な内容を掲載してはどうでしょうか。また、生ゴミ処理機の効果や町内の導入状況などを広報に掲載し、啓発していけば取り入れる家庭も増えると思うので検討してください。（高根台）

答）処理機の補助に対する実績は、平成２５年度１４件、平成２６年度１０件、平成２７年度１件となっています。ショッピングセンターなどでＰＲしたときは多くなるため、今後広報などで積極的に啓発していきたいと思います。（建設環境課長）

阿久比町では、年間１８，０００袋のアスパを作ってもらっていますが、全て無くなっています。処理機の導入が少ないという話でしたが、私の家でも全てアスパで処理し、生ゴミは出していません。これだけの数が出ていれば、他市町よりゴミが少なくてもいいと思いますが、現実が違うため今回のテーマとさせてもらいました。（町長）

質問（３）いろいろな対策をとって減量化していくことは大変重要なことだと思います。何年計画ぐらいで目標値を持っているのですか。（板山）

答）計画ではありませんが、今年度担当部署で考えている減量化目標は、マイナス２％で５２５グラムです。（建設環境課長）

新しい炉になると、東部知多クリーンセンターの処理能力は、１日２４０トンから２００トンに下がります。人口減少もありますが、この量まで下げないと炉の処理能力を超えてしまうため、ここを目標にしたいと考えています。初めのきっかけとしてマイナス２％と言っていますが、最終的には一桁違うと思います。そのため昨年から広報にゴミのページを設けさせていただきました。町として真剣に取り組んでいきたいと考えています。（町長）

関連質問）ゴミ袋を値上げした市町があるためか、ゴミステーションに地区外の人が捨てている光景を見たことがあります。町民ならまだ許せますが、他市町の人が阿久比町のゴミ袋が安いからといって捨てていくことがあるのではないのでしょうか。パトロールなどを実施してはどうですか。（板山）

答）パトロールやゴミの調査を行いたいと思いますので、情報提供をお願いします。（建設環境課長）

資源ゴミの報奨金制度についてお願いします。この制度は、町を經由して資源ゴミを業者に売却し、売却額と同額を地区に渡し、さらに報奨金を上乘せするものです。地区の運営費となるため、この制度を地区の皆さんに周知・啓発していただきたいと思ひます。

またゴミ袋の値上げについては、常滑市のように単独で実施してしまうと問題が起こります。少なくとも東部知多衛生組合の2市2町は、広域で値上げする必要があります。現在、大府市から新しい炉ができた際は値上げしたいとの意見が出ています。町民に負担をかけることはやめたいと思ひていますが、不法投棄の問題もあります。炉の完成が平成31年4月であるため、平成30年頃にはある程度の方向性を出さないといけないと思ひています。（町長）

関連質問) 板山は自然豊かなので不法投棄が大変多かったです。最近の不法投棄の件数は分かりますか。（板山）

答) 不法投棄を監視するため職員一人を当ててパトロールしています。件数については、現在資料を持ち合わせていないので後日回答させていただきます。（建設環境課長）

質問(4) 2~3年前に転入し、今初めてアスパのことを知りました。陽なたの丘など若い世代は知らない人が多いと思ひるので、再度PRしていただければ利用したいと思ひます。（福住園高台）

答) PRに努めていきます。何かご不明な点がありましたら建設環境課へお問い合わせください。（建設環境課長）

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) 維持補修の件について、昨年度各地区から何件出されていて、何件完了したか教えてください。

また、昨年度の未来づくり懇談会で、平成26年度の区長が要望したところ、停止補助線をすぐ引いてくれるとの回答でしたが、いまだに行われていません。先ほど議事録が残っているという話でしたが、昨年度地区から出した維持補修について、まだ完了していないものは今年度にきちんと申し送りされているのでしょうか。（福住）

答) 現在資料を持ち合わせていないので後日回答させていただきます。（建設環境課長）

関連質問) 昨年度要望書を提出したものは、今年度も同じことを書いて再度提出しなくてはならないのですか。（福住）

答) 昨年度提出していただいたものは出さなくて結構です。(建設環境課長)

質問(2) 巨大地震を危惧しています。防災マップに避難場所と避難所が掲載されており、福住園高台は東公園が避難場所となっています。避難場所は、避難所へ避難するための一時集合場所という認識でいいのですか。また、高齢者を避難所であるふれあいの森へ運ぶことは大変です。東公園にある集会所を、自力で動けない人のための避難場所として活用することは可能でしょうか。(福住園高台)

答) 援護が必要な方の名簿は、自主防災会と民生委員に渡してあります。今年の防災訓練では、要援護者の避難についての再確認や情報共有をしていただくための訓練を考えています。避難場所や避難所は町が指定していますが、発災時に町が指定したところまで来るというのは無理だと思います。そのため、事前に自主防災会で地区の皆さんが最初に避難する場所を検討していただきたいと考えています。(総務部長)

関連質問) 民生委員や自主防災会で要支援者を把握しているということですが、個人情報の問題があり家族構成が分からないため、本当に支援が必要な方なのか、ご家族が手助けして要援護者を避難させることができるのかが不明です。自主防災会で把握してくださいと言われましたが、各家庭を全部回らなくては情報を集めることができません。町にはさまざまな情報があると思いますので、情報をリンクさせ、誰を最優先に援助しなくてはいけないのか整理してください。(福住園高台)

答) 要援護者名簿には、本人の了解をとって登録しています。名簿に載る条件としては、独居老人・高齢者世帯・障がい者の方に、町が案内して登録してもらっています。家族構成ですが、障がい者の方については家族構成が分かりませんが、高齢者については独居または高齢者のみの世帯であるため、優先的に支援していただきたいと思います。先ほど言われたとおり、介護や障がいの状況というのは、個人情報ですのでお示しすることができません。しかし、昨年個人情報の取り扱いについて改正があり、災害時には町から情報を提供することが可能となりました。今年の防災訓練で、支援が必要な方がどこにいるのか情報共有していただきたいと考えています。(総務部長)

質問(3) 板山は、陽なたの丘ができてから、かなり頻繁に通り返りの車が往来しています。前区長からの要望で、町が退避路を作ってくれるとのことでしたが、道幅が狭いため、歩行者や、もともと生活道として捉えておられる地区の方から、「安全に車の往来等ができるように」との要望もあるため検討してください。(板山)

答) 昨年度、地区の方に紹介していただき、今年度に繰り越されていますが用地買収を進めています。地主が町外の方なので連絡がつきにくく時間がかかっていますが、早期に交渉をまとめ、工事を進めていきたいと考えています。(建設環境課長)

町全体に言えることですが、道が狭いです。名古屋市の場合、狭いところは一方通行に

しています。地区の同意が得られれば、町道であれば公安委員会と協議して一方通行にすることも可能です。町内では椋岡地区で1カ所行いました。しかし、一方通行にしてしまうと住民の方が不便となるため、同意を得ることが難しいと思います。現在町が進めているのは、すり替わりができる待避所を確保することです。本来であれば4メートル道路にしていきたいと思いますが、狭あい道路の補助制度があってもなかなか進みません。とにかく事故の無いようにしていきたいと考えています。(町長)

質問(4) 高根台だけではないと思いますが、町境では隣接市町にある放水設備の方が近い場合があります。隣接市町と震災が起きた時の対応として共同戦線を張るという話がありますか。先ほど南海トラフの話がされましたが、危険があると感じたなら隣接市町と共同戦線を張ることも検討の中に入れておかないといけないと思います。(高根台)

答) 水道関係ではある程度東浦町と話はできていますが、災害時には超法規的な対応ができるように隣接市町と話をしていきたいと思います。阿久比町の中でも特に高根台が一番まちとしてつながっているので、特に東浦町長と話を進められるよう努力していきます。(町長)

関連意見) 今後自治会の話にもつながっていくと思います。(高根台)

5. 閉会あいさつ

本日は、大変お疲れ様でした。今年から方法を変えて、テーマを決めての懇談会を実施させていただきました。今回の2件のテーマは、一番身近で大事な事業ですが、実施するにはいろいろな面で難しい事業です。特に高齢者と地域とのつながりについてのテーマは、どのようにしたら地域において福祉事業ができるのかを、これからも行政と地区とで連絡を密にして、地域の福祉事業向上に努めていきたいと考えています。

以上で平成28年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月19日（木）午後7時～午後8時45分
□会 場	白沢区民館
□参加者	町側10人、地区側35人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）町が高齢者のための遊ばせる施設を考えてほしいです。詩吟の会などを行うときに、自主的に集まれるような場所を提供していただきたいと思います。町にはふれあいの森のような条件の優れた便利なところもありますが、老人を遊ばせるには物足りません。また、白沢台でもサロンが月1回では物足りません。（白沢台）

答）居場所作りですね。町も図書館の有効利用として駐車場用地を買収しています。さらに、城山保育園までの道路を作り、図書館まで便利がよくなる計画もあります。また、ふれあいの森の横に元気な家族農園を80区画提供させていただき、個人的に花や野菜づくりができるような居場所づくりも頑張っています。（町長）

関連質問）ふれあいの森に高齢者を遊ばせる施設作りはどうか。（白沢台）

答）お年寄りが外へ出る機会を作ることと地区ごとに地域のつながりを作ることが大切だと思います。（民生部長）

関連質問）ビリヤードをするなどといった高齢者を遊ばせる場所の提供についてはどうですか。（白沢台）

答）話題から外れるかもしれませんが、中央公民館には住民の方が自由に使えるあつまルームがありますので、活用してはどうか。（民生部長）

関連質問）第3日曜日に碁の会もありますが、高齢者を毎日遊ばせてくれる施設を考えるといいのではないのでしょうか。（白沢台）

答) 参考にさせていただきます。(民生部長)

関連意見) 65歳以上が44人いますが、寿会という名の会合を毎月1回開いていて、ほぼ全員出席しています。その時に問題提起や話し合いをしていますし、民生委員から町のさまざまな情報ももらっています。旅行や忘年会、女性だけで展覧会、公園ウォーキングも誘い合っている。助け合いとして切れた蛍光灯の交換も活発に行っています。活動報告まではできませんが皆さん元気です。その他に、ストレッチ体操といった体を動かすことを、週1回ですが20年近く行っています。朝歩いているグループもあります。健康であれば何でもできます。名古屋での食事会も皆さん連れ立って行ってきます。男性には家具が倒れないよう支え棒を付けてもらうこともしています。(メイツ巽ヶ丘)

答) 貴重なご意見ありがとうございます。誘い合いは良いことです。今後も続けてほしいと思います。(民生部長)

質問(2) 少子高齢化による小学校の空き教室の提供や保育園の開放を視野に、子どもと高齢者が触れ合っていけるように検討してほしいです。他の地区では既に保育園と地域が取り組んでいるところがあると聞いています。少子高齢化社会とって悲観ばかりするのではなく、できることはないのでしょうか。(メイツ巽ヶ丘)

答) 地域だけでなく、行政も協力させていただくので、話し合いの場を設けてください。(民生部長)

補足) 町の少子化率についてお伝えします。白沢12.79%、白沢台9.45%、メイツ11.07%、町全体は16.25%。白沢台においては10%を切っており、子どもが少ない状況です。児童の増え方も地区によって偏りがあります。東部小学校にも教室を作りましたが、さらに足らなくなるでしょう。英比小学校は若干空いているところを特別教室として使わせてもらっていますが、今後、人口の構成も数年先には変わっていくと思われるため、有効利用をしていきたい。4月には、新たにひなた保育園も完成しましたが、すでに定員を満たしています。また、英比小学校東側には、新たな学童保育と保育園の複合型施設を民間で建設する話があり、来年4月にはオープンさせたいと考えています。(町長)

① ゴミの減量化について

配布資料に基づき建設環境課長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 平成25年と平成26年を比較すると、数値が悪くなっています。資源ゴミが減って処理費用がかかることは分かりますが、原因についても分かる範囲でお答えしていただけますか。(白沢台)

答) 一番の原因は、家庭ゴミから出る紙の量です。これがどこかへ行って報奨金が下がっているのではないのでしょうか。また、スチールやアルミに関しては重さがなく、費用還元という面では金額として跳ね返ってきません。紙がアピタやピアゴ等資源ゴミを出せるところがあったためそちらに流れているのではないかと思われます。また、サンキューもポイントで還元してくれるのでそちらに流れているのではないかともと思われます。(建設環境課長)

関連質問) 資源ゴミとしてアピタ等に流れることはいいですが、報奨金として収入を上げ、ゴミを少なくしようというのなら、町としてのPRの方法を考えたほうが良いのではないのでしょうか。(白沢台)

答) 広報でもいろいろお伝えしていますが、なかなか広報だけで普及することは難しいので、今回のような懇談会等による口伝えがいい機会だと思いますし、今後もPRしていきたいと思っています。(建設環境課長)

質問(2) 紙の郵便物について、住所など個人情報の記載されたものは、資源ゴミに出さず、つい燃えるゴミに出してしまいます。住所など記載されたままゴミとして出してしまうと、他に漏れることはないのでしょうか。(白沢台)

答) 私個人は、個人情報のところを消すか、その部分だけ破いて、燃えるゴミと分別し、新聞紙に挟んで資源回収に出しています。通常、ゴミステーションにゴミを出し、パッカ一車に入ってしまうえばそのままゴミ処理場に行くので個人情報が漏れることはありません。ゴミステーションにある間に盗まれなければそういった心配はないと思います。(建設環境課長)

質問(3) 配布資料の1.阿久比町の回収ゴミ量の総量が生活ゴミ5,534トンとなっていますが、各地区の数量は出ていますか。また、どこの地区が増えているとか分かりますか。例えば白沢地区でどれだけ増えているなど。地区ごとに把握していなければ、ゴミの減少対策にならないのではないのでしょうか。(白沢)

答) 本日は、地区ごとの資料を持ち合わせていませんが、町全体の数字ならあります。(建設環境課長)

関連質問) 地区ごとの資料を持ってきて、ここの地区が多いからこのような対策をしたほうがいい、本日は、町全体の数字しか持ち合わせていないから分からないということでは、意味がないのではないのでしょうか。(白沢)

答) 後日お知らせします。(建設環境課長)

関連質問) 後日ではなく、次の会場などで資料などを持ち合わせていないと意見も出ないのではないのでしょうか。(白沢)

答) 分かりました。ありがとうございます。(建設環境課長)

ゴミの減量を考えるのであれば、ゴミの出し方の啓発が必要と考えます。

自治会の会計に、出たゴミを売った部分はそのまま町を經由して地区へお支払いし、なおかつ報償費という形で町の税金の中から地区へ還元しています。それにもかかわらず、地区別報償金が減っていることにはいくつか原因があると思います。ゴミの中に資源ゴミを入れてしまうこと。また、資源ゴミの持ち去りがありました。その時にその所有者をはっきりするために路上に出されたゴミは阿久比町の所有物であるとし、警察に届け出たこともあります。そういったことで皆さんの被害が少なくなることも行いました。事業系のゴミは有料処分してもらう必要があるが、家庭用のゴミと一緒に出してしまうこと。さらにこれは自治会の方には申し上げにくいのですが、皆さんの協力をいただいて公園等の草刈をしていただき、それをそのままゴミとして出してしまうことがあると思います。その水分を含んだままの草をゴミとして出すと量が増えます。家庭での草刈りによるものも同様です。阿久比町は自然が豊かですのでそのまま出されるとかなりの量になってしまいます。そのため、このあたりをどうしていくのか考えなければならないと思います。くらしの会に作っていただいているアスパは、年間約18,000袋を全部配布しています。そういったことで、生ゴミを還元することも行っています。こういった状況もある中で、阿久比町のゴミが多いことは、どういうことなのか。皆さんの生活にもかかわってくるゴミ袋の値段の高額化については、本来広域で均一にしたほうがいい。理由は、安いゴミ袋を買ってその地区にゴミを出してしまうことが現実としてあるためです。大府市から東部知多衛生組合の新施設が完成したときに、広域でゴミ袋値上げの提案がされています。処理場も平成31年4月稼動のため、平成29年から平成30年の間に考えなければならなくなります。町も原油の価格が上がったときにも値上げのことは考えましたが、抑えました。ゴミ袋の高額化のことを皆さんにお伝えしなければならないと思っていました。常滑も平成24年にゴミ袋の高額化に取り組むといった意気込みを感じました。自治会長さんたちは、地区の報奨金を上げるために区民にゴミの分別のPRをしてほしい。陽なたの丘の報奨金数値が低く、草木地区の人口がほぼ同じにもかかわらず差があるということは、町も啓発活動する必要があります。(町長)

関連意見) 中日新聞社が月1回新聞紙を玄関に出しておいてくれば、その新聞紙を回収するというので、新聞紙がかなり減ってしまったことは事実です。(メイツ巽ヶ丘)

答) そうですね。植地区にもそういったことで回収にきます。手軽ではありますが、是非、資源ゴミとして出していただければ、報奨金として地元へ還元しますのでご利用ください。(建設環境課長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問（１）河川が草やゴミで汚れていますが、何か対策はありますか。（白沢）

答）全地区はやっていませんが、所々で河川の浚渫（しゅんせつ）を行っていますので、要望等があれば区長を通じて維持補修申請という手段もあります。また、大規模に行う場合は予算のこともありますので、すぐに行うことはできませんが、その場合も区長を通じて相談してください。（建設環境課長）

質問（２）ふるさと納税で町の税収が外へ流れているのではないのでしょうか。現時点での取り組み状況を教えてください。（白沢）

答）返礼品について、既に取り組んでいるところへ問い合わせ、５月９日には業者によるプレゼンテーションを行い、業者を決定しました。今後は、町の特産品を取り扱う業者説明会からスタートして、９月１日から返礼品を出したいと考えています。（総務部長）

質問（３）皆さんにお尋ねしたいが、阿久比賛歌を知っていますか。ほとんど知らないですよ。長野県民は８割が地元の賛歌を知っています。小中学校等にも広めてはどうですか。（メイツ巽ヶ丘）

答）町制６０周年の時には、子ども達に歌ってもらいました。小中学校にも各１枚ＣＤを提供しています。ＰＲ不足で申し訳ありません。（総務部長）

補足）文化協会が（６月１４日か１５日には）振り付けも取り入れ、アグピー音頭が完成します。（町長）

質問（４）他市町に比べ、職員研修の費用や回数が少ないのではないのでしょうか。また、管理職の対応が悪いのではないかと思います。（白沢）

答）職員研修は、予算の範囲内で年間各種行っています。後日、資料を提供します。なお、管理職への対応などは、再度、周知徹底します。（副町長）

５．閉会あいさつ

本日は、大変お疲れ様でした。今年から方法を変えて、テーマを決めての懇談会を実施させていただきました。今回の２件のテーマは、一番身近で大事な事業ですが、実施するにはいろいろな面で難しい事業です。特に高齢者と地域とのつながりについてのテーマは、どのようにしたら地域において福祉事業ができるのかを、これからも行政と地区とで連絡を密にして、地域の福祉事業向上に努めていきたいと考えています。

少し時間が早いですが、平成２８年度未来づくり懇談会を終了します。（副町長）

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月24日（火）午後7時～午後8時50分
□会 場	中央公民館
□参加者	町側10人、地区側21人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同主旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）65歳以上、75歳以上の人が増えるという話はありませんでしたが、そのことに対する町としての施策が見えません。紹介のあった取り組みは地区がやっていることであり、町としては何をやっているのですか。坂部の友愛サロンは始めてから3年経ちますが、一向に他の地区で始まりません。町は、何もやっていないのではないかと感じます。65歳以上でもスポーツ、仕事、学童の補助活動、サロン、友愛活動をすれば、その方が楽しいので、病院に行かなくなり、医療費の削減もできます。紹介したことについては、地区がやっていることであり、町として、それを増やすのかどうするか姿勢をはっきりしてほしいと思います。（坂部）

答）町としては、今日紹介をした活動は、各地区で進めてほしいと思っています。現在、行われていない地区でどう始めてもらうか、誰を中心として進めるかなどが決まらず、なかなか踏み出せていないのが現状です。地域で話し合いの場ができれば、町と社会福祉協議会が出向いていきます。とりあえずは、そういう場所を設けてもらうように呼びかけを進めていきます。

活動しているところも継続することに関して、問題があるのではないのでしょうか。後継者不足、担い手作り、世話人が利用者になるなど、そういった活動の継続について地域の話し合いの場があれば、関わりたいと思っています。町として地域と一緒に話合いを進めていきたいと思っています。（民生部長）

部長はサロンなどの話しかしていませんが、町として高齢者の居場所作りとして図書館の整備、ふれあいの森の周辺で始めた元気な家族農園など、高齢者が引きこもらず、社会との関わりを保てるような施策を新たに始めています。もちろんサロンも大切ですが、そればかりでなく、タクシー券の助成や循環バス事業なども高齢者対策の一つとして認識し、継続して行っています。（町長）

要望) 65歳以上の人があるのくらい働いているか、スポーツに関わっているかなど、そういったものが分かる資料がほしいです。そういった人が1%でも増えれば、医療費の抑制につながります。何もやることが無いから病院に行って暇つぶしをする人が多い。そういう人を無くすために、詳しい資料が必要になってきます。今日見た資料にはそういったものがないので、具体的な話できません。もう少し詳しいものを資料として提示してもらわないと中身のある話できません。(坂部)

答) これしか持ち合わせていません。言われたとおりで、仕事をしている人は居場所がありますが、退職後、居場所がなくなる人がいるのが現実です。高齢者にとっての居場所を作り、生きがいがない方、引きこもりの方を外に出すことが大切です。そういう機会を作るのは大切ですので、地域で話し合いの場があれば、情報提供のため伺います。どんどん協力したいと思っていますのでよろしくお願いします。(民生部長)

提案) 民生委員を2年やると、高齢者に対して自分ができることが少なく、そして高齢者の数が多いのに驚かされます。できる範囲で活動をやっていますが、ボランティアの高齢化は問題です。他の地区でも立ち上げ時のボランティアは多いですが、数がどんどん減って、しりすぼみになっていると聞いています。そのような状況の中で、ぜひ、幼保小中一貫教育の中で、ボランティアの育成に取り組んでほしいと思います。そうすれば自然とボランティアをする子どもが育ってくると思います。熊本地震の風景を見ても、中学生がボランティアとして奮闘しています。きっとそのボランティア精神は小さい頃から養われたものだと思います。子どもの育成には長い時間がかかるため、小さい頃からやるのが1番です。家庭のことを学校がやっている状況もありますので、PTAの充実も含め、全ての人が住みたい、住んで良かったと思う町にしてほしいと願います。(坂部)

答) 幼保小中一貫教育プロジェクトを10年間行っており、ボランティアについては社会教育課と一緒に進めています。図書館のお手伝いなど、ボランティアに子どもが関われる状況を作るようにしています。しかし、その数はまだ少ないのが現状です。これからより充実を図り、子どもたちが大人になったとき、自然と困った人を助けられるようにしていきたいと思います。(教育長)

要望・提案) 要請が一つあります。今日の未来づくり懇談会は、高齢者問題とゴミ問題という大きな二つのテーマがありますが、内容によっては、町長が将来の長期ビジョンを作る際の参考になると思います。参加する側としてもある程度、勉強して臨みたいと思っていました。この前、そのためにデータをもらいに行ったら、役場に区長の仕事は参加者を10人集めることだと言われました。これは失礼ではないでしょうか。高齢化対策については、事例として地区の対策をある程度話し合っておいてほしいとか、阿久比町のゴミ負担金は多いので、ゴミの量を減らすための対策を話しておいてほしいとか、そういう話が事前にあって良いのではないのでしょうか。広報に不用物の転用についての記事がありましたが、地区によって状況が違います。そういうことがあるから、地域で対策を勉強してからこの会に臨み、中身の濃いディスカッションにしたかったです。

高齢化対策としては、平均年齢としては73歳かもしれないが、健康寿命を延ばすことが一番です。平成25年度、医療関係費42兆円。20兆円は保険、15兆円は国・県費、6兆円が病院で払う自己負担。健康寿命を1年間延ばせば、全体として1兆円削減できるのではないのでしょうか。そのため、元気な家族農園やサークルなどの集まりで体や頭を使い、刺激与えてぼけ防止・認知症対策をするのが大切です。そして、引きこもり、うつになると気力がなくなるので、余り深く考えずに、明日になればいいことあるさ、という気楽な雰囲気を作ることが一番の高齢化対策だと思います。それに加え働く場所があればますますいいが、そう簡単にはいきません。政策協働課が音頭を取って、高齢者が一日のうち、1時間や2時間でも働ける場所を作るように頑張ってもらいたい。そういう場所があれば新たな活性化、コミュニケーションが生まれる、一連の高齢者対策としても、働くことができる場を作るよう民生部長にも案を作ってほしいです。(坂部)

答) 貴重な意見をありがとうございます。高齢者の生きがいは大切です。未来づくり懇談会で各地区を回って、対策を練っていきたいです。すぐには回答できませんが、戻ってよく考えて進めます。(民生部長)

提案) 先ほど、子ども時代からのボランティア活動の推進や資源ゴミについて話がありました。個人的なことですが、10年前から空き缶のプルトップを集める活動をしています。どうして集めるかという車いすがもらえるからです。しかし、15万個ためないとダメだと最近知りました。つい先週の日曜にあったみんなでゴミを拾うゴミゼロは、参加するとそのことで、ボランティア精神というか満足感が起きます。そういったものに子どもも参加すれば、違った感動を受けます。阿久比の人口28,000人。みんながプルトップやペットボトルのキャップを集めれば、一年に車いすが何台もらえるか。2台や3台はもらえるのではないかと思います。とにかく一世帯ごとにみんなが協力して、同じ目標を持ってやることをプルトップでやりたいと思います。東浦町がやっているのか、パチンコ屋がやっているのか分かりませんが、ペットボトルキャップの回収に協力するため東浦町のパチンコ屋へ行っています。家でたまと困るから持って行っています。是非、これを阿久比でやりたいです。私以外にも大半の方がいろいろな所に持っていっていると思います。廃棄しているのはもったいないと思います。(卯之山)

答) ありがとうございます。プルトップで車いすをもらえるとは知らなかったです。さまざまなボランティアが有効なので一度調べます。ありがとうございます。(民生部長)

②ゴミの減量化について

資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同主旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)。

質問(1)生活ゴミを入れる黄色の袋に樹木の切ったものや木、草を入れて捨てる人がいます。最近、それがものすごく増えています。樹木の切ったものや草を再生利用する方法

を考えれば良いと思います。また、生活ゴミの黄色い袋と廃プラ用の白色の袋があるけど、当番でゴミステーションに行くと、黄色の中にプラゴミがたくさん入っています。黄色と白色の処分費用に差はあるのでしょうか。可燃ゴミの処理費の方が安く、何でも可燃ゴミでどんどん出せよということなら、プラスチックゴミも黄色い袋に入れます。ゴミ袋の値段を上げるという話があったとき思いついたのが、分別する雰囲気を作るために、例えば、黄色のゴミ袋を20円とし、白色のゴミ袋を5円にすれば、みんな分別するようになるのではないかとことです。つまり、袋の値段に差を付ければ、みんな白色のゴミ袋にプラゴミを入れると思います。黄色も白色も結局燃やすのは同じで、値段が一緒だったら、どうして黄色と白色を分けるのでしょうか。(坂部)

答) どちらの袋に入れても、確かに燃やすのは同じですが、生ゴミなど可燃ゴミを入れる黄色い袋は、先ほど言ったように東部知多衛生組合に持っていく運搬費と処分費を払っています。廃プラを入れる白色の袋で回収したゴミは、新日鉄に売っています。そこが処分方法として大きく違います。先ほどの黄色のゴミ袋より白色のゴミ袋を安くという提案は前向きに検討したいと思います。関連して、他の地区で、プラゴミをきれいに洗っているけど、燃やすならそんなことをしなくてもいいじゃないのかという意見がありましたが、汚れ方で値段が違うので、しっかりきれいにして廃プラ用の白色のゴミ袋に出していただきたいです。このことはしっかりとPRし、浸透させないといけないと思います。広報の毎月1日号に去年の6月から一人当たりのゴミの量を掲載しています。同時に減量化、分別の方法も一緒にPRをしています。まだまだ足りないかもしれませんが、PRを積極的にやっていきます。(建設経済部長)

意見) もう一点、可燃ゴミの中に草や木が入っていることが多いし、最近よく目にするようになりました。家庭菜園や菊同好会にとっては、腐葉土を作るのに最適なので、再生利用する形が良いと思います。1カ所に草とか木を捨てる場所を作ってほしいと思います。そうすれば樹木などが肥料になって、ゴミが少しでも減るのではないのでしょうか。これは意見です。(坂部)

質問(2) 部長の説明では、分かりにくいところがあったので教えてください。最初、運搬費で1億1,600万円、処分費で1億2,200万円という話があって、その後、グラム当たりで量が少ない多いという話になりました。ゴミを減らしたいのは分かりますが、話が全体的すぎて、部長さんのように専門家ではない住民にとっては分かりにくいです。例えばゴミ袋を値上げしたいという話がありましたが、値上げが妥当かどうかという話についてはトータルの予算の中で、このゴミの量を処分するとお金がこれだけかかるから、ゴミ袋の値上げが必要。だから、皆さんご協力をということであれば、我々も分かります。

資料を出すときに、町側が説明したいことを私たち庶民にも分かるような形で示してほしいです。例えば、一人当たりのゴミをこれだけ減らすと、収支均衡するから、ゴミ袋を値上げしなくて良い。減らさないと、これだけお金が足りないから、ゴミ袋を値上げするよ。そう言うことがあれば我々も意見を出しやすいです。また、アイデアを出してもそれがどう生かされるのでしょうか、結局は記録だけになってしまう気がします。せっかくこうい

う時間を作ってもらえるのならば、先ほどの坂部区長さんの意見にもありましたが、もう少し具体的にデータを準備していただいて、地区の中で話し合ってから、参加できる形にしてほしいです。町長と部長の話す時間が長く、地区の意見を聞くというよりは、自分たちのPRになっています。時間がもったいないです。来年は、資料を事前に配り、どんな意見を聞いて、何をアウトプットしたいのか住民にも分かるような形にしてもらえると、もっと有効な懇談会になると思います。(卯之山)

答) 部長は地元なので、力が入って時間オーバーしてしまいました。すみません。これからは注意します。ゴミについて、今回伝えたかったことは地区への報奨金についてです。分別を徹底している地区、してない地区があります。植地区の平成27年度は38万円、陽なたの丘地区は15万円です。これを見ると、陽なたの丘地区は分別が徹底していないことが分かります。実際は植地区と同じぐらい報奨金がもらえるはずで、分別すればお金が増える余力あるということです。新しく転居してきた人たちへの話なので、町として報奨金についてのPRが不足しているということです。区長さんをお願いしたいのですが、分別の意識で報奨金に差が出ます。皆さんのところも報奨金が減っているのでもっと分別に力を入れてほしいです。

また、町では一般ゴミに混じっている事業系ゴミを減らしたいと考えています。今日、担当から事業系ゴミを一般ゴミに出している事業所を告訴するという決裁が回ってきました。連絡して今月末でも改善しなければ告訴はやむを得ないという状況です。

アスパの配布も毎年、18,000袋を行っているにもかかわらず、依然としてゴミが多い現状です。アスパ利用をもっと周知していくべきだと考えています。人口減に合わせて、今回東部知多衛生組合の焼却炉が240トンから200トンへ2割小さくなります。阿久比町と大府市は人口の急激な減少がないとされているので、阿久比町がゴミの減量を進めないと他の市町とのバランス関係が崩れてしまいます。数値を見て、ゴミ減量についてよく考えてほしいです。会の進め方については、改善していきます。(町長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) タクシー券助成のほほ笑ましい話です。予算は1,700万円だそうで、私も申請したけど使っていません。卯之山の3人が、福住サロンに行くのにいつも乗り合わせで行きます。そのように使えばタクシー券はかなり有効です。一人一台でなく乗り合わせで使ってもらえるとありがたいです。どこかで良い話として紹介してほしいです。発行されているタクシー券はどれくらいなのか、分かれば教えてください。(卯之山)

答) 平成27年度実績ですが、発行人数は2,202人です。70歳以上の方で43.8%です。使い切る人はほとんどいません。高齢者が外出するきっかけとしては良い事業です。良い話をありがとうございます。(民生部長)

要望) 阿久比町の議員の仕事が、住民から見えません。例えば年度初めに一人ずつ目標設

定して半年ごと、一年ごとに進捗状況を公表したら良いのではないのでしょうか。企業だったら達成率の個人評価は当たり前。町から報酬をもらっている以上そういう仕組みが必要ではないのでしょうか。町会議員に限らず、国会議員にもやってほしいです。(阿久比団地)

答) 議員の活動については、町の全般的な状況を見てもらっています。自分の関心のある分野に対して、専門的な形で行政に対して意見いただいている場合もあります。町民への発表という今回の件は、議長に伝えます。(町長)

意見) 町長さんたちがいつも提供してくれるこのデータは大変良いです。自分で作ろうと思ったけどなかなか難しい。地区ごとの人口比率、男女比率、施設入居者を除いた一般住民だけのデータを整理してみたいです。人口状況がよく分かり、字として助かる。来年は事前にそのようなデータを配り、良い議論ができるようにしてほしいと思います。(卯之山)

告知) J I M Oキャラ総選挙に知多半島で唯一アグピーが参加しております。皆さんにもPC等にて検索していただき投票をお願いします。また、応援もお願いします。

5. 閉会あいさつ

今回はやり方を変えて貴重な意見もいただいております、来年に向けて勉強・検討します。今回のテーマにもありました高齢者と地域のつながりについては、行政と地区の連絡を密にし、今後も福祉の向上に努めてまいります。

以上で、平成28年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月25日（水）午後7時～午後8時50分
□会 場	草木公民館
□参加者	町側10人、地区側24人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

要望）草木宅老所は老朽化が進んでおり、地区では何ともならないため、耐震等をお願いしたいです。（草木）

答）地震のことも大変だと思いますが、宅老所での避難訓練も普段から行われることが必要だと思います。半田消防署阿久比支署も避難訓練講座を実施しており、活用するといいいのではないかと思います。（民生部長）

質問（1）最近感じたことですが、カーブスやスポーツセンターには高齢者が多いことが現状です。また、敬老会の出席率が低く、運動会等も同じです。現地まで出かける手段がありません。つまり、車がなければ巡回バスを利用するのがいいのですが、1時間に1本くらいしかないので、本数を増やしてほしいです。（草木）

答）そういったご意見は多いです。循環バス運行評価委員会でコース等についても検討を行います。ただ、循環バスの予算（今年度約3,561万円）も増加していることやバス会社との契約がより高くなることが見込まれていることなどの理由から非常に難しい状況にあることをご理解ください。（総務部長）

質問（2）高齢者サロン等世話人であるボランティアの方が高齢者となるケースが増えていきます。町として、展望や対応をしてほしいです。（草木）

答）利用者の方も高齢者、世話人も高齢者となっていますが、利用者も通うだけで予防になると思います。また、高齢者が世話をしていることも介護予防にもなります。こういったことが阿久比町のボランティアとして重要になっています。

草木地区というまとまりがあるところですが、宮津地区では、1%町民予算枠わくわくコラボ事業で、高齢者に特化するのではなく、子どもや男性も参加しやすい目的でサロンを立ち上げました。その結果、男性も参加しやすくなったと聞いています。草木地区でもサロンを立ち上げるような意見も聞いていますが、そのときには、町も協力させていただきますので、声をかけてください。(民生部長)

意見) 町議から草木地区の高齢者自身のための催しや、みんなが集まって団らんをするために、ハピネスを利用してはどうかという話がありました。高齢化社会に向けてどういった対応が求められているのかということから始め、3回ほど会合を設けました。そこで、新規で高齢者を支えてあげたいことについては、皆に賛同を得ましたが、具体的な話になると、高齢者ボランティアの状況であることもあり、話がまとまりません。

その中で、私自身が考えたことは、自分のために相手が喜んでもらえる。自分の健康のため、自分の認知症を防ぐためには、体を動かすことや軽い作業をすること、頭を使うこと、規則正しい生活をするのが認知症を防ぐにはいいという話を聞きました。そこで、認知症にもならないし、介護にもお世話にならない、といった好循環な生活のためボランティアに積極的に参加することで、自分のためばかりでなく地域のためにもなる、こういった地域づくりができれば、草木式のサロンもうまくいくのではないかと思います。議員や団体も巻き込んでやっていきたいです。(草木)

答) 町も会合の場に呼んでいただければ参加させていただき、いろいろな提案をしたいと思います。(民生部長)

意見) 脳のいきいき体操を年2回ほどやってもらっていたが、昨年中止になりました。認知症予防等のため続けてほしかったです。(草木)

答) 中止になった理由は確認していません。認知症対策については、今年も健康介護課でいくつかのメニューがあり、講座が中止になることはありません。(民生部長)

関連意見) 地元での出張講座に意味があると思いますので、よろしくお願いします。(草木)

②ゴミの減量化について

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 地区別報償金は、ゴミが多かったところが多くいただけるのですか。(草木)

答) 資源ゴミを集めて売る値段に上乗せしていますので、多く集めていただいた地区の報奨金が多くなります。(建設経済部長)

関連質問) 草木地区の報奨金が、人口が同じくらいの陽なたの丘や植地区より多い理由は、

その地区がゴミを出さないようにしているのですか。草木地区が資源ゴミをたくさん出しているからなのですか。(草木)

答) 草木地区が分別をしっかりとできているということです。(建設経済部長)

分別回収したものに対して、その褒美として町が報奨金を出しています。陽なたの丘が少ないのは、町のPR不足であるため今後啓発していきます。(町長)

意見) ゴミ袋の高額化について、特徴的なのが、東海市のように一定量を無料配布し、それ以上使う場合は高いゴミ袋を買ってもらうようにするのがよいのか、常滑市のように初めから高いゴミ袋にするのがよいのか。それ以外の市町はゴミ袋の単価が似ています。どちらも成果が出ていると思いますが、検証する必要があると思います。いずれにしろ、将来、値上げする場合はしっかり検討してほしいです。(草木)

質問(3) 廃プラは、お金を払って焼却しているのですか、売っているのですか。(草木)

答) 廃プラは、最終的には燃料の替わりになるので新日鉄などに売っています。町にとっては、買ってもらっているのでプラスになっています。(建設経済部長)

質問(4) 生ゴミ処理機の補助は、一家庭に一回なのですか。すでに20年利用しています。(草木)

答) 昨年度、要綱を改正して10年経過すると申請が可能となるように変更しました。(建設経済部長)

関連質問) 生ゴミ処理機の中にチップを入れていますが、値段が高く、肥料を買ったほうが安いです。チップの補助を導入する予定はありませんか。(草木)

答) 私個人が思っている生ゴミ処理機は、熱風で生ゴミを乾燥して粉々にして下から出てくるもので、それを肥料にするものです。肥料にするには、自前の生ゴミによって再利用した方が安心だと思います。(建設経済部長)

意見) 市販されているものがいくらで、何カ月くらいもつのか調べてほしいです。(草木)

質問(5) 資源ゴミが年々減っているのは、盗難に遭ったということだけでなく、自然に減っているのですか。(草木)

答) どこの地区も年々減っています。一時は、盗難もありました。場合によっては、ゴミ袋の中に何でも入れていたときもありましたが、現在は抜き打ち検査をしても、半分以上資源ゴミが入っているようなことはありません。悪いときでも10%くらいです。全体的に資源になるものが減っている状況もあるかもしれません。また、サンキューやアピタ等

が資源ゴミの無料回収をしているので、そこへ持っていっている状況もあるのではないかと思います。

関連質問) 町の資源ゴミの分別について、紙類は、新聞紙や雑誌、本だけですか。会社では10種類ほど分別していましたが、どうですか。(草木)

答) 現在は、新聞・雑誌・ダンボールの3種類です。(建設経済部長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) ボランティア活動の割合は、町全体で把握しているのですか。(草木)

答) 手持ち資料の総合計画中間年(H27)に行ったアンケート結果では、ボランティア等の参加人数は、23.4%でした。(総務部長)

意見) 町民憲章にもボランティア活動がうたわれており、更なる啓発活動をやりたいです。(草木)

質問(2) 保育園の入園の申し込みについて、結果までの時間がかかると思います。9月に申請し、4月に入所することの回答が2月でした。平成27年度の状況についてお聞きしたいです。(草木)

答) 募集は、秋に申請していただき第3希望まで取っています。入所決定通知は2月か3月ごろとなっていました。昨年の懇談会でもご意見がありましたので、担当課には早く入所だけでも通知を出すように指示をしていましたが、子育て支援制度の変更もあり申し訳ありません。昨年度の支援制度の変更は、どこの保育園に入園したいのかと、保育時間の、標準保育時間8時から19時までか、8時から16時までの短時間なのか、時間帯についても希望を取っています。

事務処理として、まず保育の時間帯を決定します。その結果を入所希望の保育園に打診しながら調整を進め、入所できる園を決定していきます。この2枚の決定通知書を出すという流れに変わり、事務が複雑になり量もかなり増え担当は大変苦勞しています。

第1希望の保育園に入れませんが、町長の方針として、これまでも待機児童は一人も出さずに、町内のどこかの保育園へは必ず受け入れをしています。(総務部長)

本町でも保育士が不足していますので、短期でも構わないので身近な方がいれば協力をお願いします。(町長)

要望) 草木地区には5つ公園があります。今まではいろんな団体がやっていましたが、今後はその公園等の草刈について、草木地区の方がボランティアとしてやっていこうと思っています。また、5つの公園のうち4つトイレを設置してもらっています。また、現在、

小学校のエアコンやトイレ、新庁舎建設に予算を回していますが、花かつみ園へ散歩等に訪れる方もたくさんいますので、今後、トイレの設置を考えていただきたいです。(草木)

答) この20日に倉吉市長が花かつみ園を表敬訪問しました。そのため日程変更していただいたことにお礼を申し上げます。倉吉市とは、花かつみが縁でお付き合いをさせてもらっています。この公園を365日開放した理由は、花の公園にすることです。訪れる方が四季折々の花を楽しんでいただきたい。最近心配しているのは、花かつみの花の咲き具合です。そこで、今度、県外へ派遣し、そこで研究し合う予定です。花かつみが元気になればなるほどトイレの建設が近くなってくのではないかと個人的には思っております。いずれにしろ、地域も力を入れていくことになれば、町としても予算化していきたい。今までも花かつみ園には町として投資しており、今後も町として花かつみ園には力を入れていこうと思っています。(町長)

告知) J I M Oキャラ総選挙を実施しており、町のアグピーも候補者になっておりますので、PCから投票をお願いします。また、応援もよろしくお願いします。(建設経済部長)

5. 閉会あいさつ

今年度は、テーマを変えて懇談会を進めさせていただきました。この2つのテーマは、一番身近で一番大事なことでありますが、色々な面で難しい面があると思います。特に高齢者と地域のつながりのテーマについては、どのようにしたら地域において福祉事業ができるのか、これからも行政と地区の連絡を密にし、地域福祉の向上に努めていきたいと思っています。(副町長)

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月27日（金）午後7時～午後8時55分
□会 場	大古根公民館
□参加者	町側10人、地区側34人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）ふれあい訪問をボランティアとして行っています。訪問人数は23～24人ぐらいですが、実際に訪問しなければいけない人数はもっといます。募集はチラシ等を使っていますが、なかなか訪問してほしいと言われる方はいません。サロンについてもボランティアが主体で老人和楽会が協賛しています。これについてはいい結果が出ていると思います。サロンは年齢制限をしていないので、子どもも自由に来てもらって、若い人とも触れ合って、若い人のエネルギーをもらっています。サロンとしてはうまくいっています。ふれあい訪問は、民生委員から一人暮らしで少しチェックや訪問してほしい人などをピックアップしてもらい訪問しています。このふれあい訪問をもう少し広めて、訪問を増やすにはどうしたらいいのか、良い方法があったら教えてください。（大古根）

答）大古根さんは最初の活動は訪問活動から始まって、地域の人とのつながりを作ってからサロン活動を始められたと聞きました。宮津さんも、訪問活動は高齢者だけとなっています。少し話題は変わりますが、宅老はなかなか男性の方が来られないので、その男性が来やすいサロンを作ろうと宮津さんが立ち上げました。おそらく大古根さんもそういった形で男性も参加しやすいサロンという形で立ち上げて、年齢制限のない子どもからお年寄りまで誰でも関わるサロンができたのは大事だと思います。訪問活動についても、実際は31人いますが、中には65歳以上でも若い方がいらっしゃるので、顔をつなぐことが非常に大事です。何かあったときにあの人だと顔が浮かぶつながりを持つことが大事です。少しずつでも輪が広がるよう頑張ってください。（民生部長）

質問（2）高齢者の位置付けについて、今の認識が違っているかもしれませんが、いきいきクラブでは60歳になったら会に入ろうというところが多いが、なかなか入ってもらえないのが現実です。資料では65歳以上で高齢化率が計算されています。今は130歳時

代と言われ、60歳や65歳もまだ若造になってしまいます。高齢者の役割や働き場所を、個人的にでも役割を持ってもらえるように、その一つとして、子どもを守る、地域文化を守るというような活動、例えば、いきいきクラブなど興味のある人に委嘱して、そういうことで地域とのつながりを持つようにしたらどうかと思います。高岡の宅老所は老老介護と一緒に、受ける方もやる方も65歳以上70歳、80歳、そういう現状を抜本的に見直すときです。始めてから12、3年経ちますがそういう時代になってきています。だから、高齢者の位置付けや役割をもう少し明確にして、皆さん方をお願いしていくのが必要だと思います。宅老所や見守りなど、そういう人たちの力を借りて進められている現状を、今一度見直して、次のステップへ進んでいくことが必要ではないかと思います。（高岡）

答) 地域の見守り、非常にうれしく思います。宅老所は利用する方も世話をする方も年齢がどんどん上がってきています。それも大変なことです。高齢介護というのかもしれませんが、利用する方もそれなりの方たちですので、お世話人さんも世話をしなければいけないという義務感から、本人たちの介護予防にもなっています。体を動かし、頭を使うことで本人たちにとっての介護予防の一つになっています。これはこれで大事なことと思っています。また、担い手をこれから見つけることが一番の課題となっています。これからも地域で語らいの場を設けていただければ、いつでも出向いてお話しし、協力していきます。（民生部長）

関連意見) いきいきクラブに高齢者の加入問題を任せるのではなく、行政としても、これからのまちづくりの中で、高齢者の役割をしっかりとしながら、だからこの活動に参加しようというようなところを大事にしてほしいです。（高岡）

質問(3) 大古根の小地域福祉活動のふれあい活動の一環として訪問活動をさせていただいております。民生委員さんを頭にして10人ぐらいのメンバーで、何班にも分かれて月1回ですが、声が出た方を対象にして訪問させていただいています。民生部長がお話しされましたように、現状のさまざまな内容のこと、国や県から下りてきたものを、町内や各地域へ下ろさせていただいている活動が多い。高齢な方々を、60代や70代初めの方々が見守りやお世話などしています。どんどん高齢化率が高くなっていることや、少子化のことで反比例が起きてきます。部長が言われたように、継続することに対しての人選と後継者育成が、どの地区でも大変になってきています。ボランティアでやっている皆さん方が、一つの形として、ここまでいったらいいのではないかという、一つずつの何か合格点のような、見極める先がないと、いつまでそれをやるんだという現実があると思います。行政としてバトンタッチができれば、継続してやっていただくことが可能だと思いますが、2025年までがピークですが、ピークを超えればある程度また違う時代になると思います。長寿社会ですので、そういった方のお世話が、元気で他の方の手のかからない状態で全うできれば一番いいですが、地元のボランティアでされている方以外に、行政として方向性を何か導いていただけたら、奉仕活動の方も何とか頑張れると思いますが、お答えください。（大古根）

答) 後継者を探すのは大変ご苦労なことです。これという答えはありません。地域の関係者に集まってもらい、語り合うことです。私どもだけでなく社会福祉協議会も一緒になって、そういう場を設けていただければ、何かアドバイスができると思います。情報提供、いろんな情報を持っていますが、すぐに答えは出ません。地域で語り合って、何か糸口を見つける、そこから始まるかと思しますので、またそういった場を作っていただければ、私どもも赴いて協力いたしますのでよろしくお願いします。(民生部長)

②ゴミの減量化

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 確認ですが、生ゴミの収集所は、うちの方は火曜日と金曜日にやっていますが、普通の家庭の生ゴミだけではなくて、例えば庭木を剪定したものが束で出ていたり、草刈機で刈った草が袋にたくさん入っていると、これらのものは他に処理する場所や方法がないので、そこで処分するのはいいことなのですか。(高岡)

答) ゴミとして出すことは、処分させていただきますので構いませんが、草などはそのまま生で出していただくとかなりの重さになります。できましたら2~3日乾燥させて、それを袋に入れて出していただくと、グラムの的には大いに減っていくのではないかと思います。そういうゴミについても、生活ゴミとして処分させていただいている状況です。(建設経済部長)

質問(2) 先ほどの方法は好ましい方法ということで、町でこうしてくださいというような処分方法がないのですか。例えば、他の町では、草刈機で刈った草は土手で燃やしてしまったりする事例をこちらで見ますが、そういうことを阿久比町としては、温暖化で好ましくないという認識ですか。(高岡)

答) そのとおりです。燃やしていただくと煙が出て、近所の人から役場へ、「あそこでゴミを燃やしているけどいいのか」とかなり電話が来ます。燃やしていただくよりはゴミとして捨てていただくか、乾燥させて堆肥化をしていただきたいと思います。たとえば、庭で乾燥させると一気に量が減ります。それをためておいて堆肥として利用していただくとありがたいと思います。(建設経済部長)

質問(3) 焼却炉の使用というのはどうなっているのですか。設置するには一定の基準があるのですか。(高岡)

答) 市販されている焼却炉のほとんどは違法なものになります。結構な熱量でないと、ダイオキシンの関係がありますので。市販されているものでも工業用など専門の炉ならいいかもしれませんが、一千万円単位の高額なものになりますので、個人で買われる方は、まずいないと思います。一般の焼却炉として買われてくるものは、基本的には違反となりま

すので、よろしくお願いします。（建設経済部長）

情報確認) どの地区へ行っても一番問題になっているのは、刈った後の草を黄色いゴミ袋に入れて出すと、かなりの量になることです。そのことについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。ということで、今回のテーマとなっていますが、大字さんはどうですか。他の地区で農地などが多いところは、農地へ持って行って堆肥化すると、かなり腐葉土になるということを知っています。行政と地区が協働しあえば、草を刈ったゴミを少なくすることができます。これが少なくなれば、かなり数値も下がるような気がします。区長さんたち、何かいい案はありませんか。（町長）

答) 確かに、家庭から出た草木の剪定ゴミを個人で処分するというのは困ってしまいます。大古根は盆前に神社清掃をします。そのときは各家庭の草木の剪定ゴミも一緒にアグメントに依頼して処分してもらいます。今言われたように、家庭から出た剪定ゴミを個人で処分するように言われても、捨てる場所がないので行政で処分してほしい。先ほど言われたように、ゴミを生で出すより乾燥させて出すほうが、体積が減っていいのではないかと思います。しかし、今すぐどうにかするというものではなくて、町のほうで回収していただかないと、各家庭では困ってしまうのではないかと思います。（大古根区長）

関連質問) 困っていることは事実で、家庭ばかりではなく地区に、都市公園など公園維持費を出していますが、年1回ということでは、なかなか綺麗にならないということです。かなりの人的資源を地区から提供していただいています。そこで刈ったものを公園維持費を使って何とかしてほしいといっても、かなりの金額になりますので、そのあたりも行政は考えていかなければいけないと思っています。植の場合について区長さんにお話を伺います。（町長）

答) 植の場合は、草木等を寝かせる場所があります。今度、池の周りの草刈りをしますが、そのままそこへ置いておけば次の時まで草は伸びないし、家庭用についてはどこかにそういう場所を作らなければなりません。しかも、その場所へ持って行くことが大変だと思います。そういうふうになれば腐葉土になると思います。菊などでも、神社の葉っぱを腐葉土にしてやっています。家庭用になると、どこか可能な場所を作らなければならないと思います。（植区長）

答) 高岡の場合、捨てる場所はありません。区会などや、神社や氏子が伐採したものについては、ある程度乾燥させた後に焼却するか、どこかで堆肥化させるかです。各家庭となると、処理に困るので、袋に入れてゴミに出すこととなります。それについて字で何か対応することは難しいと思います。後は行政と相談して何かできるなら協力します。（高岡区長）

質問(4) 先ほどの近隣市町の状況の説明がありましたが、ゴミの減量が進んでいるのが武豊町で、毎年減っているというデータ上のお話がありました。武豊町が取り組んでいる

事例とか何か聞いていれば、聞かせてほしいです。これだけ減ってくるのはすごいと思います。（植）

答) すいません。データを持っておりません。一度武豊町に確認して、よい方法でもあれば、また皆さんにPRさせていただきますので、よろしく願います。（建設経済部長）

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問（１）第５次総合計画の基本目標第４節に掲げられています、「人を育てる教育・文化のまち」を実現するために、阿久比町の伝統文化、歴史を現時点でまとめ、後世に語り継がれるようなことについて考えがあるのかお尋ねをいたします。

阿久比町には、多くの先人たちが築いてくれた文化があります。日々の生活の中で生まれ育った生活があります。阿久比町の歴史の中でこれらのことをしっかりと留め、語りつないでいくことを考えてくれませんか。（高岡）

答) 総合計画の中で、「人を育てる教育・文化のまち」を実現するためにということで、今、現在やれることを考えてくれということですが、現在阿久比町には、愛知県の指定になっている文化財で有形文化財として平泉寺の不動明王立像を始め４つの美術工芸品、無形民俗文化財として阿久比谷虫供養、また史跡として板山の長根古窯があります。阿久比町が指定している文化財には、有形文化財として正盛院の仁王門と洞雲院の十六羅漢図を始め１４の美術工芸品と山車を始めとする７つの有形民俗文化財、また二子塚古墳など３つの史跡と天然記念物になります宮津熱田社の楠があります。また、平成２４年１２月にはこの大古根地区にあります蓮慶寺の本堂、山門、土塀が国の登録有形文化財に指定されました。このように多くの文化財があり、文化を支えた人物もたくさんいると思います。阿久比町の伝統文化歴史については、以前にまとめた物としまして、「あぐいのあゆみ」という冊子があります。これは平成６年１１月に発行され、２０年が過ぎておりますので、どこかでこれを更新する必要があると考えております。現時点でまとめることにつきましては、はっきりとは言えませんが、虫供養につきましては、今年度に住民税１％町民予算枠制度のわくわくアイデア事業で阿久比谷虫供養リーフレットというものを作成し、今年の虫供養までに作成することになっております。また知多市町会が知多管内の学校の先生、生徒に知多半島で活躍した偉人の方を知ってもらおうと、平成２８年２月に「知多半島偉人図鑑」という副読本のようなものを作りました。ここには知多半島の産業や文化や教育で活躍しました偉人が載っており、阿久比町からは、知多四国八十八カ所を開きました岡戸半蔵氏と都築紡績を築いた都築良平氏が掲載されています。こういったものを利用して、町民や子どもたちに伝えていきたいと思っておりますので、よろしく願います。（教育部長）

関連質問) 南部小学校の４・５・６年生に「阿久比の昔話」を読み聞かせしています。この内容を低学年に向けて紙芝居化ということ、例えば町制７０周年に編集できるように

今から準備してもらったり、お寺や神社にある教育委員会の掲示板などを、今一度、文章を見直していただいて、町民にこういったものがあるということを伝えたりできないか、検討してほしいです。(高岡)

答)「阿久比の昔話」という本は大変良い本ですが、低学年には内容的に難しいかもしれません。これを低学年用にできるか検討していきたいです。神社などに掲げてある説明の文章も、現状を確認しながら、皆さんが分かるように考えていきたいです。(教育部長)

意見)大古根の和楽会で天ぷらなどで使った油で、それを明かりの燃料として使ったり、鍋の火に使ってお湯を沸かしたりすることもできました。地震の時などに利用できるのではないかと思うので、防災訓練の時などに練習して、本当の地震が来た時に使えるようにしてはどうでしょうか。(大古根)

答)大変貴重なご提案をありがとうございます。避難所の宿泊体験をした時に、防災ボランティアの方に、サラダオイルでろうそくのようなことをやらせていただきました。非常時には明かりがないと大変不自由です。そういうやり方を是非教えていただいてPRしていきたいと思います。ありがとうございました。(総務部長)

要望)ゴミステーションをコラボ事業でカーテン式の使いやすいものに改良していただいてありがたいと思っております。生ゴミは植では火曜日と金曜日の当日8時までに出していますが、カラスが非常に増えて困っています。町で年2回駆除をしていると思いますが、どれくらい駆除が進んでいるのか、カラスは頭が良いので手に負えないのか教えてください。またカラス対策をお願いします。(植)

答)年2回駆除しています。1回に5日間ほど有害鳥獣駆除をしています。カラスも頭が良いので、1回で25、26羽しか撃てませんので、たくさん捕れません。これからも継続していきますが、鉄砲を撃つ人も高齢化が進んでいて、難しくなっています。(建設経済部長)

質問(3)いきいきクラブの役員を探すのが大変です。50人で1クラブですが、それを見直していただくと助かります。しかし、役員数が減っても助成金が減らされるのは困ります。役員が減っても助成金が下がらないようになると助かります。(大古根)

答)老人クラブに町として補助金を出しています。皆さん会員確保にご苦労されています。社会福祉協議会に、こういう問題が出ていると提起して検討することもありますのでお願いします。(民生部長)

質問(4)一ノ草病院の道から日産への道ができると言われていますが、どうなっていますか。(植)

答) 議会の一般質問でもお答えしておりますが、この道路は県の事業でして、日産の交差点、名鉄電車、阿久比川を渡っており、また非常に名鉄電車と交差点の距離が近いことがあります。交差方法について、いろいろ県の方で検討しています。阿久比町としては、名鉄の下をくぐり、平面で交差する方法を要望しております。名鉄をくぐるのは、もともと低いところで、ちょっと大雨が降ると溢れるようなところなので、名鉄をくぐるのに、アピタのように土地を掘り下げて道路を作ることになり、県道になると県の方も後々の管理費用のことを考えると名鉄を上げたほうがいいのかいろいろ考えているところなので、まだしばらく時間がかかりそうです。町の方も毎年、早期に着手していただけるよう要望しておりますので、今しばらくお待ちください。(建設経済部長)

告知) 現在中日新聞主催でJIMOキャラ、東海3県の市町村が持っているキャラクターの投票が今行われております。今アグピーがこれに参加しております。皆様のご協力で少しでも順位を上げていきたいと思っております。知多半島で唯一アグピーだけが出場しておりますので、知多半島中の皆さんでアグピーに投票していただければ、去年は51体中23位の真ん中より若干上でしたが、今年は東海3県で43体ですので、去年の23位では若干不服であります。20位以内は当然のこと、できれば一桁台になるように頑張ってお応援していただきたい。皆さんにご協力いただきますようお願いいたします。(建設経済部長)

意見) 先ほどの道路の話は、部長さんからの話は町議会の一般質問のところで言われていることと、少し違うようなイメージがありますので、これは本当のことを町民の皆さんに説明すべきことではないかという気がします。どちらがどうか私には分かりませんが、よろしく願います。(高岡)

6. 閉会あいさつ

皆さん大変お疲れ様でした。冒頭に申しましたように、今年から少し方法を変えましてテーマを決めての懇談会を実施させていただきました。今回の2件のテーマにつきましては、一番身近で一番大事な事業でありますけど、実施するにはいろいろ難しいところがございます。特に初めにしました高齢者と地域のつながりにつきましては、それぞれの地域において福祉事業ができるのか、これからも行政と地区と連絡を密にして、地域の福祉の事業向上に努めていきたいと思っておりますので、よろしく願います。それでは時間になりましたので、以上で終了させていただきます。今日はどうもお疲れ様でした。ありがとうございました。(副町長)

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月30日（月）午後7時～午後8時45分
□会 場	勤労福祉センター
□参加者	町側10人、地区側18人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）問題点が4つあるため南部宅老所を廃止していただきたい。1点目、利用者は資産家・区長経験者・高額年金受給者の家庭が多く、いわゆる勝ち組の家庭のおばあさんばかりで負け組のおばあさんは見たことがありません。2点目、町委託金が120万円程出しており、利用者35人で割ると1人当たり3万4千円弱。草木宅老所では1人当たり12万円弱、ふれあい・いきいきサロン事業では1事業当たり年間3万円。3点目、南部学区の民生委員は慣例で全員が南部宅老所の運営委員や役員に組み込まれます。女性民生委員においては負担が重いため、体を壊す人が続出しています。また不本意な思いを残して早死にした人もいます。4点目、共産党がこの宅老所を自慢しており、民生委員が中心になって共産党を支援しているようで誤解を招きかねない状況です。（矢口）

答）町内に宅老所は4カ所あり、通われている高齢者や地域の方に偏りはあるかもしれませんが、介護予防という点で大きく位置付けられています。そこで支える地域の方についてもかなり高齢化してきていますが、利用者のお世話をすることで介護予防や生きがいになり、相乗効果があると考えています。限られた人しか利用していないのはPRが不足しています。高齢者施策として、いきいきクラブが行うサロンや小地域福祉活動など、地域で支え合う活動を進めていきたいと考えていますが、宅老所を廃止してまで新しい事業を行う予定はありません。宅老所を生きがいとして利用される方がいる限り、続けていきたいと考えています。（民生部長）

関連質問）草木学区と南部学区は、宅老所の運営に民生委員が深く関わり、会長など執行部をやっています。特に女性は、ボランティアが大変で、体を壊したり、耐えられなかったりする方がいます。民生委員に慣例でやらせることをやめさせてほしいです。（矢口）

答) 民生委員だからという責任感で、無理に体を壊してまでお世話をするという強制的なものではなく、あくまでボランティアなので本人の価値観に任せています。また、町から民生委員に対して、強制的に参加してくれとはお伝えしていません。(民生部長)

関連質問) 女性が特に気の毒なため、民生委員があえてやらなくてもいい、本当に気持ちのある人だけでいいということを、民生委員に分かるように役場から指導してください。

(矢口)

答) 民生委員の職務として、地域の福祉に従事することは大きなテーマですが、強制的に体を壊してまで参加するということはありません。ボランティアであり、本人の意思で参加していただくため、あえて民生委員さんは協力しなくてもいいですよということとは筋違いだと思いますが、現状について民生委員協議会に提示させていただきます。

(民生部長)

情報確認) 矢口地区で6月にサロンを行うと聞きましたが、どのような状況でしょうか。

(民生部長)

答) いきいきクラブが中心でやっていただきます。6月から毎月第1月曜日の午前中2時間ぐらいで行われ、矢口地区の方なら誰でも参加できます。(矢口)

関連質問) 棕岡のサロンについては把握していませんか。(棕岡)

答) 若干噂は聞いていますが、はっきりといつから始まるかは聞いていません。もしよかったら状況を教えてください。(民生部長)

答) 補助金申請もしてあります。6月19日に行います。(棕岡)

関連質問) いきいきクラブの会長会議で、友愛活動としてサロン活動や訪問活動があるからぜひ地区で行ってくださいと言われました。地区でサロン活動をやりたいという声が上がったため、いきいきクラブが行うことで話が進みました。実際始めようとする、いきいきクラブの会員だけでなく、広く地区全員に参加してもらおうこととなり、ボランティアを募集することになりました。たくさんの応募があり、運営をボランティアの方をお願いすることになりました。最終的に、申請はいきいきクラブで行いましたが、実際は小地域福祉活動という感じになってしまいましたが何か問題はありますか。(棕岡)

答) 特に問題ありません。それぞれの地域が活動しやすい方で始めていただくことが理想です。いずれにしても社会福祉協議会の事業の一環で、どちらで行っても1事業3万円補助されます。サロン活動は、いきいきクラブ連合会に納められた分担金を地域の活動しているところに還元し、小地域福祉活動は、社会福祉協議会の会費から地域に還元するもので、出所は違いますが大きい意味では同じ地域をつなぐサロンです。また1年の事業であ

るため、翌年度変更していただいても構いません。（民生部長）

②ゴミの減量化

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）ゴミがたくさん出るということは豊かな生活を送っていると考えられることもできます。以前は地区の清掃奉仕などで出た草は燃やしていたが、今は東部知多クリーンセンターへ持ち込んでいるため増えていると思います。以前のように燃やしてもいいということであれば、各地区で年間1トンぐらいは減ると思います。また、家庭で出た紙も昔は燃やしていましたが、今は燃やしている家は周りに一軒もありません。全てゴミとして出すのですが、個人情報で見せたくないものもあるため、資源ゴミではなく可燃ゴミとして出しています。それも家で燃やすことができればゴミは減ると思います。（棕岡）

答）家庭などで紙や草を燃やすことはやめてください。個人情報の部分だけハサミで切ったり、マジックで塗ったりするか、気になる部分以外を資源ゴミとして出してもらえたらと思います。また、草を東部知多クリーンセンターへ直接持って行っていただくことは大変ありがたいことです。できましたら、草を抜いたらそのまま袋に入れるのではなく、2～3日乾かしてから袋に入れていただければ軽くすることができるのでご協力をお願いします。（建設経済部長）

質問（2）ゴミ当番を年に数回行いますが、ひどい捨て方をしているゴミ袋を目にします。小学校の夏休みの宿題などで分別の仕方をやらせると、先生や大人も覚えることができるのではありませんか。（矢口）

答）皆さんにお配りしているゴミカレンダーに分別の方法が書いてありますので参考にしてください。分別について何かご不明な点がございましたら、建設環境課環境係までお問い合わせください。（建設経済部長）

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問（1）町民憲章に「歴史と伝統を守り教養を高めます」と書かれていますが、虫供養に対して町はどのように考えていますか。また、虫供養には莫大なお金がかかるため、地区にとって相当負担です。（棕岡）

答）掛軸が町指定文化財になっているため、保存・維持のために年間5万円を町が補助しています。また、独立行政法人日本芸術文化振興会が行っている芸術文化振興基金の助成事業を活用すると、飲食代を除く1/2の経費について補助されます。（教育部長）

関連質問) 1 / 2 補助されるということですが上限はありますか。また、補助金はいつ交付されますか。(棕岡)

答) 上限はないと思います。補助金は実績報告後に交付されます。(教育部長)

関連質問) 町主催で虫供養を行うことはできませんか。また、保管場所を提供していただくことはできませんか。(棕岡)

答) 虫供養を町主催でやることは、宗教的な問題があるためできません。保管場所について、文化財である掛軸を町が保管することは可能ですので、必要なスペースを教えてください。できれば幹部会などで検討していきたいと思います。ただし、虫干しなどの行事は地区で行っていただきます。(町長)

質問(2) 水路の整備工事に対し一昨年から要望書を出させてもらっています。昨年度分筆測量が行われましたが、地区としても重要な水路であるため、昨年度あえて地区からの要望として区長と町議の連名の要望書に、地主の要望書を添付して提出しました。地主の要望書には、工事に対する具体的な要望が4点ほどありましたが、そのうち1つは来年度(平成27年度)実施するため要望書から外してもらいたいと言われ、再提出させてもらいました。今年度の予算と具体的な工事時期、施工方法について説明してください。(棕岡)

答) その水路については、土地の交換となっています。名義が変わらないと工事はできないため所有権移転させてもらいました。工事について具体的な内容をここではお話しすることができないため、後日来庁していただきご説明したいと思います。(建設経済部長)

関連質問) 所有権移転は今年の3月で、前年度の段階で所有権移転が済んでいます。(棕岡)

答) 3月に所有権移転しても予算はその前に組んでしまっています。その辺の経緯がずれていると思うので一度来庁していただきご説明したいと思います。(建設経済部長)

告知) 阿久比町のマスコットキャラクター「アグピー」が、今年も東海3県の公共団体などのキャラクターを対象としたJIMOキャラ総選挙にエントリーしています。知多半島からは「アグピー」だけが参加しているので、パソコンやスマホで「JIMOキャラ」と検索し、投票をお願いします。(建設経済部長)

情報提供) 5月22日付けの中間発表では、132ポイントで22位でした。皆さんの協力が必要です。(植)

5. 閉会あいさつ

本日は、大変お疲れ様でした。今年から少しやり方を変え、2つのテーマを決めて懇談

会を実施しました。この2つのテーマは、一番身近で一番大事な事業ですが、実施する上でいろいろと難しいところがあります。特に高齢者と地域のつながりのテーマについては、どのようにしたら地域における福祉事業ができるのか、これからも地区と行政の連絡を密にして、地区の福祉の自助公助に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

以上で、平成28年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)